塚本長官け

加俸は平均三分の

事課員土橋勇逸 幹事砌兵大佐下村定、軍務局軍 華縮準備委員會常任主席

に随る事さなつた、なほ原接根よれによって九月一日より加棒の減

く事、三ヶ年後には一律に新率三ケ年 現在の儘 据る置 三外年 現在の儘 据る置め 外のものは

今後毎週二回開く

り實施すー減っし九月一日よ

紛糾せば首相の裁斷に俟つ 藏相意見を漏らす

押へられ

た日代

時にお職、連続間の海底線なも敷 時にお職、連続間の海底線なも敷 時にお職、連続間の海底線なも敷

山西代

主席任命

集合して第三次

部職を許可し徐永田襲」本目の画務

開通記念日

【上海特體十一丁醫】 反川介は水一知洋谷麻然七五 被害者の報告

音松、價格二千

六十年本目はその際通記念日に相 がに完全な概要の通信連続が成り 数に完全な概要の通信連続が成り

改善援助の

本人は、国海軍少佐スエンスン本人は、国海軍・公共の手により長崎、上海間の電が回顧すれば科學の豪達せぬそが回顧すれば科學の豪達せぬその頃の動設は餘程の難事であつの頃の動設は、

まん八(八幡)に

民政府で一行は本

「幸運の手紙」

閻氏懸命の努力

全部を取廃した

小夜子の秘密や白ン

今後產業行政に

全力を注ぐ

満鐵地方部の新方針

の聯絡

奉天事務所は對外交渉に便利

傍系會社は切り離しても

賑務公債發行

『東京十一日数』 思き憑では九鬼 隆一男危馬の報を成ら召され十二 日左の如く御沙汰があつた 正二位物一等

蛇角

上海で日貨を差機へた、日本陸 した、やはり駅電流識よりは此の した、やはり駅電流識よりは此の

版東総府があっては内外館整理 てくれる暗に南京はいふ、各國は できない、廣東なび担りつぶとす

なって、東は顔を下げて、よろっていつあ事がに限りましたなあって見ませられ」 「どう思って?姿ってな?」がはじめです」 「そんなこさぶふさ、愛してあげすなあ」 まるでこの合野、蝦蛄のやうだ

て、このブルジョアのお戦さんて 大郎は決心してゐるのであつた を上げて、その手を上手に次郎の でか抱きしめた。こ、彼女は囃子 でなればさしめた。こ、彼女は囃子 であるここを味はつてゐるやうな様 であるここを味はつてゐるやうな様 で、或日壁の木陰で、グッス

大衆三大臣の問題が重大化すると 大衆三大臣の問題が重大化すると 大衆三大臣の問題が重大化すると

満銀の方は………。 される、音に観道省だけではない ではない。

ある滿俱ファンから狂歌一つい

らなけりやて

ころくつたまんれさん(滿僕)

それにしても、彼は絶な紙がし を配置させた。で次郎はお河直さ を配置させた。で次郎はお河直さ 及日宣

以中央派結束に

永久に日本の貨物を買ばな

【北平十一日登】総職するに閣線
 の他この総称に慰命の努力を振つしては反訴、反張軍を起すにつき
 たるる軍事行動開始も近からんさ
 た部分も近からんさ

軍事行動開始近し

を整ない。 を整ないは一般が一部の一部である。 を整本とは一般が一部の一部である。 でである。 でである。 でである。 でである。 できる。 でも。 でも。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。

献して来た事は愉快に思ふ、今 では無電も大脚發達し質用化されては来たが能率的なのご秘密 の保てる事は有線に遠く及ばぬ を計は取扱の汎速と秘密競守を をかけられた分努力したいと思ひと ます

でき、製術家と交際するの、ほん 単端かでちつさも動揺しなかった。 離は進んでゐないかのやうに、 離びを形象が凝しなかった。

整懈家つてもの、子供つぼいものさうに今度がはどめてだわ。……

でリヤアご挟物だ、テレつちま

田の國務會議を通過した交通財政 「上海特電十二日韓』、災割数源の 『上海特電十二日韓』、災割数源の 九鬼男に御沙汰

男爵 九鬼 隆一

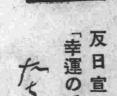
十三、四日中

發送

祭りたあて込んで此の一巻は是非金鵬なんかと、交際したの、今度は政友會がやる、地方既得にも村いますよ。だが僕も本稿の貴族の流行服商家試験外交組織な今度

が、それからは何んでも無かつ

「塗ひたかつたり」さのつけに云のであった。 際したが、彼が行くさ注子は飛び、東東へ行つて、値や洋子など、変いは飛ぎの事他があつて込寒、大手衝撃の事他があつて込寒、大手衝撃の事他があって込寒、大 「男き遊ぶつて面白いものれ」 伊藤順三 謎 史



を を であるが、
のであるが、
のであるが、

佛教中の観念、時で様に相手方を破較する必要の様に連鎖を斷つここの影脈をした極の懐単に「幸運の手織」 で同際では萬一人命に整書があっ たでは浴事性を纏餓事館に報告すたの るささもに陸駆除にも報告もたの なが、同学、

かの機會を利いる。 深刻な刺戟を 押え かなることを 來るさいふのである。

部の如き迷信の電標に使用される。此影響を発しているがなりから、本年所月便日で、一般の大部分はものには社會的文は普遍的ない。大部分はそのために外継を発される。此影響を発している意味に用して、一方。此影響を発している意味に用して、一方の此影響を発した。となるとなる。此影響を発れることを希ばない。 の子孫が兆厄を録れるここが出版。 ・一族、一萬部を配布したものは一身、 ・一族、一方のは一身、 ・一族、一方のは一身、 ・一族、一方のは一身、 ・一族、一方のは一身、 ・一族、一方のは一身、 ・一族、一方のは一身、 ・一方のは一身、 ・一方のと ・

共に道数を取入れられ、前るが、それが他の多くの事

うらる丸 十三日午前九時 天潮鬼で來連の豫定、天特務機關長土神原大佐は十五 土肥原氏來連期

上赴任する事こなつた 田代少將近~赴任

所耕を氏(鴻羅監理部次長) 所耕を氏(鴻羅監理部次長)



高橋孝太郎先生發明

▲小敷賀政市氏○同元事務長〉退

元氣百倍

避暑に、旅行に、家庭に海へ!山へ!

今年の夏の飲物として

その上天下無比の トテモ美味して 「どりての」は素晴しい人気で 高速度滋養料です

というでは、『どりこの』は胃炎の働きを要さないで、飲めば直ちに血となり成となる政養料でいくら飲んでも胃喘をいためることなし、從つて病人は勿論、健康者にも、もつてこいの好飲であります。

偉大なる

今や影響物の王者として各方面で大評判の生活心の末大影明された高速度数養料で変年苦心の末大影明された高速度数養料で 合されて居ります。而も價ひ する葡萄糖、果糖は時價十二 を許さぬ程で、只今發賣中のの安い事は他の滋養薬の追随 『どりこの』一瓶の中に含有 ミノ酸の外數種の高貴樂が配 主成分は葡萄糖、果糖、ア 發明の賜!

の偉大な既であります。 十銭で買へるのは、全く驚く に相當! それが僅か一圓二 どりこの」の美味しい召上り方



ら海の底をやれ職物やれべ歌の艦 く何も見えなかつたらう、最初立

てあるこ水脈の加減で揚がるさ何 て続も言えない

る話をよく味はつた

こう迷信めいた智慎さか云つたや

大連ヤ

マトホテル気付

らはいつちやいな

ドに送られて、さたん着

「おゝタワリーシチ御機嫌よう」

腰がグンミ隠かに願えた。庭だ底

けふ満倶と試合する東京クラブ

九尋の海底に横はる

ミス・べ號を弔

とたん足に觸つた底にぺ號

後三時早稻田實業對中京商業十二時大分商業對長野商業制九時廣陵中學對和歌山商業

は十二日午前十一時左の如く決定。
『大阪特電十二日整』第十七回全

札幌商業と對戰

十六日の抽籤一勝者戦で

中等學校野球組合せ

入連商業 [1

サウンドの東南端グッド

霽れるまで

休息する

吾子の居所判る

大喜びの大連の實母

夫人の無電

戦ひは本シーズン外來戦の最高戦 成ふにまわしての情報がに滿傷の 放したのである。この選手ームな

武合日程變更 十四日 帝大對實業第一回 十五日 帝大對實業第二回 十九日 帝大對演集第三回 十九日 帝大對演俱第一回 十九日 帝大對演俱第一回 十九日 帝大對演俱第一回 十九日 帝大對演俱第一回 十九日 帝大對演俱第一回

ホーブ

ムに無事強着した。 夫妻はアメリカ西部標準時正午に不時着水したリンドバーク大

【バリ十一日餐】駐佛大使光澤氏 レセプション

リ機濃霧のため

グ灣に不時着水

ムに向ふ途中で

間午後一時五十三分)ノームに向 | 八百名が愈々リンデイ氏砲撃り駅時十日午後八時五十三分(日本時 の寒村なる驚地には其の全人口約 | 【ノーム十一日登】米國西部標準 | に不時着水を餘儀なくされた北邊

九時東京地方数判所被事局の召喚しるるハンドン兩米飛行家は十二日午前一事態

事態を重大視し懺實取調を行っていい。

待ちあぐんでゐたのもつかの間、 らその日の來るのを撹拌りらへて で親子難慮の時を心に描きなが

奉天から北平

必ず踏破すると意氣込んで

けさ三學生大連出發

滿鐵水泳部遠泳

時より黒石礁を建終版でする十里へ満銭水水部では來る十六日午前八 さになった 十六日に五哩ご十哩 廣告板を 近く

常春の學生三人が聯盟で家天より 主で八百四十三軒を踏破せんさ鍵 本で八百四十三軒を踏破せんさ鍵 変がで鬱日へ出て大連総は印き由 主で八百四十三軒を踏破せんさ鍵 変がで鬱日へ出て大連総は印き由 は抗磁大學生電影響音の形態連れさ同 変大學生電影響音の形態連れさ同 と一十歳から二十二歳の血縁盛り も二十歳から二十二歳の血縁盛り も二十歳から二十二歳の血縁盛り も二十歳から二十二歳の血縁盛り も二十歳から二十二歳の血縁盛り も二十歳から二十二歳の血縁盛り も二十歳から二十二歳の血縁盛り も二十歳から二十二歳の血縁を もっても隣ださも云はれますが我 をはいても一日下戦闘が勃奏した。 はが産人とは、三人 が配と格の石倉城線方はかりの野 はが成大學生電影響でいづれ うで危険ださも云はれますが我 をはつれるさころまでやつてみ たいこ人は十日入港のはるびん丸。

北平五宝山向条で大津上の語るさころに

であるが、その後に世ヨシヌさんが『ないとをが成を捜査中、この程 居ったことを自由したので探す長が小田原署にて保護を加へられてが小田原署にて保護を加へられて

東京にあるヨシヌさんの

日民政黨武谷代議士

戸まで連れ戻され 成潜髪子(Tab)は追

- 度御試食を…… (御-人前山盛十五錢) トキワ橋の果物店

歌歌を加ふべく目下調査を急いで を動きのうへ市街美を描ざねやう を動きのうへ市街美を描ざねやう を対して公共閲覧の手に移し、だ。 を対して公共閲覧の手に移し、だ。

長春に强盗 一湖、午前 十時五分 一部、午前 三時五分 一年後 十時十五分 各地の温度 三三二二二最十 元九九八最十 五五四二五高日

芳香

園の

電熱焙茶

を召し上れ

整理

調査を急ぐ

金音側に二六二個八〇銭 安い焙茶 芳

御注文は

配達迅速

電話22233

日正午ごろ長春市内入船町五

人れの不得風きから 個人の繁神災事業さ

ある

情くのさゴロくと際水で嗽ひたよ、原州者の弟子は原州の親がの 通りにするし長崎者は長崎者でや はり親がに置った様にやってゐる お 居るが 還入る時パッと くこ 強水をには 房州のものさ、大事のものが 一者水其に大串式つて奴さヘルメ

でルメット式は書からあるがでいから力仕事をするに使用され趣歌作ないから力仕事をするに使用され趣歌作を立ふなではもつて來いで先づご兵でから力仕事をするに使用され趣歌作を表えるようには野々興味を帯びてくる 写真 機械の取付は勿論機械及材料は増方にて提出致します。
喜んで詳細を御通知申上ます。
喜んで詳細を御通知申上ます。
高を個人及劇體は至急左記へ御照會あれ 俄然ネオンサイン 監設督計 配達迅速▼ 横井建築事務所 基語三五五九番 東語三五五九番 東語三五五九番 東語三五五九番 東語三五五九番 東語三五五九番 工場

各二夫 通前な年 利職は生生 告什候会会会</l 田口上田山田

るれ賣でメ、キたれ放飛 しべるらせ用服でに平断

阪大 堂日春田隈 舖本

其象ト貴ヒ ラ金ス 他牙ブ屬イ 御買求ならば

種紫陶麻各種 種 質 本工器雀石 是非定許のある

電話六五四四番

氏一段名―を恐鳴した歌時大連海 明は十二日午前十時大連地方法院 中地域官保際底、事實動地の結果。 小田域官保際底、事實動地の結果。 小田域官保際底、事實動地の結果。 9 JA 5-PA

野球懸賞募集源速町近

をしい益は公共事業に繰入れたい というでは、一般で大連署では之が繁理の常殿板を密 というでは、最近町内含义

へ妻の家出

天意隐隐

吉繁作

完全なる責任を持ちて、1して不明するとておりずして居りずして居りずして居りずして居りがして居りが、1月十日より従来の不安なる揖値竇の養智慣を膨大月十日より従来の不安なる揖値竇の養智慣を膨

個注意 おり高質の場合は何時にても御取替又は返金致らます 市内の商店に正札付大割引き廣告とながら大掛値 市内の商店に正札付大割引き廣告とながら大掛値 店さ御混同なき様御顧致します

らず 危險

B

ABY.9

是25

PATHE-BABY-9 MMS-PA

4 I

大流行大好評

御家庭で

の活動寫眞機

カギパテーベビー

面白く映寫出來ます

女同志で送別午餐會

水勢の侵入を敗止めてゐるが佛と 「漢日十一日登」 漢ロケ酸ふた大 「漢日十一日登」 漢ロケ酸ふた大 漢口の増水

貫滿兩軍と對戰

專

來る十八日朝鮮經由で來連

外來戰愈よ高潮す

を離け依然さらてまらず那外内 高はの居住日文人を数ふために影 高はの居住日文人を数ふために影 が愛す五呎の覆端に映像を念じに を愛す五呎の覆端に映像を念じに がしまさ物勢さに窓に随れる者 ではこれを収容して数野な加へて居 はこれを収容して数野な加へて居

學校工場を計畫 那貧民救助の 普化佛教總會長來る 特響では祝人職機中 【長春電話】 ・ 会操第百餘個を強繁速走した、長 ・ 金操第百餘個を強繁速走した、長 融業所邀出希望の子祭に修業年限 一ケ年間を以て實際融業知識を見 意中であった大連基督教帝年會經 整の南漸融科學院は十日間を現て 世報の南漸融科學院は十日間を現て 世報の中漸高級科學院は十日間を現て は指令管日より一ケ年以内に財際 は指令管日より一ケ年以内に財際 南滿商業學院 設立認可さる

BABY:9 5 PATHE

馬賊逃亡 法人組織を以て設立される筈

特三徵大

でか

ついた

脅迫中に

守備兵

時大連常開音影響主任機本千代吉師を受けたさした武送者から多額の贈るといな順を嗅ぎつけ雷の贈る 六ケ月を求刑 恐喝監視員に

作車艦ワルアックルーソー號は來 を十五日大連埠職入港二十一日ま 佛國軍艦入港 キューピー

マヨネーズ

扱き藝妓から

連署に自廢願

前後八回のレコード保持者

大檢北村席の宇女鶴

山にも 海にも

御家庭の御食膳にも

繋井試錐工事應需

金器銀器の御註文は

大連市浪速町浪華洋行前通支那風呂向、大連市浪速町浪華洋行前通支那風呂向、大連市浪速町浪華洋行前通支那風呂向、大連市浪速の参照である場合、大連市浪速が大きになりまた、前間は最祖常信用を有くて戻ります。 金銀器、貴金屬、裝身具、ヒスイ、寶石類金銀器、貴金屬、裝身具、ヒスイ、寶石類金銀器、青金屬、装身具、ヒスイ、寶石類

BABY.9 WAS. PATHE-BABY. 急速 强壯劑

今日の疲勞を忘れて 明日の健闘に備へる

フイルムが不燃性で断然安全である事嚢 用 が 僅 少 で 樂 しめる 事 MHTA9·2 ≥ 6

モートカメラF3 *5 八十五国 サード 映 寫 機 五十八国 サード 映 寫 機 五十八国

バテーベビー 最優秀、最低廉の九ミリ牢 の九ミリ牢

說明書進呈

第二の器もるたが光年網死した) につき、或人は、これは正式の事 の外、解一人の器(第一の器もさ

好さ共にその日くな送ることと

辻

支那第一の女優

(中) 花

の女優

髪して繋が進かは善く塊らない。

あるやうに見せて幾度と抜け出し なたのな、繋がさしたさいふのか あれ程手筋のよかつた太一は一時 なたのな、繋がさしたさいふのか なたのな、繋がさしたさいふのか ない、世継が出來たさ異んで ない、世継が出来たさ異んで ない、世継が出来たさ異んで ない。

「それから三日目のひる前です、 高田の源橋に二人の下駄が脱いで あつたのが登見されたのは」 「死権は?」

「「「中屋」の安房がお勝手でや食のの窓標の型や枯れ製をさつたり、 あれていいます」

子の岡村絹代『常盤座上映』 ・ 大『が戀愛鳩簿なくり擴げる、寫真は島耕二の山岸時雄さ峯吟泉です、清邊衆子等々賑やかな女郷軍に聞まれて島田耕二、見明子の作牌色が先づ第一に面白さうである、濱口富士子、佐久間妙子の田村絹代『常盤座上映』

畵

夕

田の

0

大河內傳次郎主演

「存合は合つて磨ります」

便秘は短命

のきと

感嘆!! 咸嘆!!



阿

んさが砂舎から深間になったのち 三百萬兩事件(計九)

大體金は持たされてない。衣物やかけに置いられなくなる。太一にはできなった金しかなく、おぎんにはできなった金しかなく、おぎんにはできなった金しかなく、おぎんにはできなった。 「それから家出さいふ殴所になっ

まめ、腹壁でしていふのは喉をしてぬた」「それで、その時、竹脂屋の親族 も「はい、妓のだが、まづ院屋を扱っけ出して大木戸まで起り、学が、 水本店先に撒いてゐる太一を譲ひ 出したのださいひますが……」 至さ、その遺手婆のお

日活實演隊 十九日來連 常盤座に出演

日語賞談 職の協 整座出 演はいより は 大大日まで博名 東にて十九日來連ら、 書間は かる 丸にて十九日來連ら、 書間は かる 丸にて十九日來連ら、 書間は かる 丸にて十九日來連ら、 書間は かる 丸に 一行は 入月十三日より は 一次である、 なほ一径の 離野れ と 一次である。 なほ一径の 離野れ は 悪いのはる びん丸で 神浴の まである。 なほ一径の 離野れ は 一次である。 なほ一径の 離野れ は 悪いのは るびん丸で 神浴の まで かる な ほーぞの 離野れ は 悪いの は かった である。 な ほーぞの 離野れ は 悪いの は かった である。 な ほーぞん の は かった かった である。 な ほーぞん で かった と かった で かった と かった で かった

軟造下海 般四 座

既製品と布團種

也

8

京

帶形明

中町

類石

冬物

の銘仙

人連市イワキ町

大一の機が干切れて一つかゝつて、別のでもすで、死性は窓に上りませ、「小地だったな」「一地にたったな」「一地にたったな」「一地にたったな」「一地にないふここです」「一世にが手わけなして機しに出たのだな」「一世にが手わけなして機しに出たのだな」「一世にが手わけなして機しに出たった。」「一世にが手わけなして機しに出たった。」「一世に対して大力で、上の方へ行って、国内には小地でものには小地でものでは、外で、一世の方へ行って、国内では、一世の方へがこんざは機とでもかり、中人たちを呼んで、死性を目つけたりしたちを呼んで、死性を目つけたりしたちを呼んで、死性を目つけたりしたちを呼んで、死性を目つけたりしたちを呼んで、死性を目つけたりした。 映画の十日以十六日は

座

有田會松

D

十日より階下廿銭原風

市港高

はこうだん

名番

電話六三九二番

十三日封切

月 五四三 日日日 三日間

市民のお臺所

、組合員への金融造の改善

荷上不完全であった荷

引下げ

いより

二十日に創立總會

日三十月八年

イツ財界

救濟要求容認

中央調管市場に当時では は

「中央調管市場ででは

「中央調管市場でで

「中央調管市場で

「中央事産を
「中産を
「中央事産を
「中央事産を
「中央事産を
「中央事産を
「中央事産を
「中産を

利であらうさいはれてゐる

五分利國債

常態に復す

國立銀行利下ご共に

コンミユニケ發表

はかれてオーストリヤが職際に提 トンに耐ふこさ、なつたが、これ トンに耐ふこさ、なつたが、これ リンに耐ふこさ、なったが、これ リンに耐いないでは、これ リンにがいる。

六

容した魅動クレギツト問題に関し一る事に決定した (パーゼル十一日登) 國際決測銀一て一定の統制を励るため帰國中央

議定書の採擇を完了しイギリス外務省で正式調印された、恐職後五十二日目懺經目取り極めに關し日、英、米、佛、伊、白、獨、專門委員會は十一日午後五時【ロンドン十一日餐】フーヴァー大統観のモラトリアム繋に必要なベーク感覚認定の部分能感託その【ロンドン十一日餐】フーヴァー大統観のモラトリアム繋に必要なベーク感覚認定の部分能感託その

で管理の運びさなったわけである

獨對短期クレデット

列國中央銀行代表會議を招集

おると間でらるとに至つたからで きらましばめて有効な前提さなり

果物出荷組合

であるから決して不常に受徴さしては触りられない、從つて市監局さしては触くまでや平さ思惟してゐるが、要量會に成て若し市のられぬが、委員會に成て若し市のを記述を以て過報の補償さして異るつもりであるさ答(た模様であるっとりであるさ答(た模様であ

科學的に見た

が組織される故に、 が組織される故に、 が組織される故に、

大豆粕の飼料化

佛首相外相 獨逸訪問

十月まで延期 れた保電し、総合良多數の意見にフランス管様ラバール、外様ブリフランス管様ラバール、外様ブリー、出荷の統制 一、出荷の統制 一、出荷の統制 一、出荷の統制 では、解合良多數の意見に

米棉實收高

の二大要點に関する意具の交換の一、組合自生産の果物を共同出荷二、同業者に有利なる時期におい *業者たる組合員の共同利益の徳、と果物出資組合は生まり

三分の増加を見てゐると若と今年 取高は八月一日の收穫を想よりも 見難香、過去四年間を通じ米棉筠。 收高は八月一日の收穫を想よりも 見 を 見入職である。 製高はそれだけ像標高より増加を 製高はそれだけ像標高より増加を

豫想より増加

り財政能援助を含す密である もので基準職党までは集神組合よ 主要生産業者終六十名が結成した 旅順管内作況

過去と将來 を は目に しょう なには 新市場 の最 がるここに よめやう 割さし、總上援い高は被年度にお東信があるので八分、その他は一

大連中央卸賣市場

四萬八千六百九十五圓、支出十二

が大概同じだから第一回の柳葉青

四四での後十

市直營の收支

五十貫 以内、果他は同八十 質以けない物品の販売をなるたりする

453.9 48.671.1 172.337.6 1.161.9 5.568.8 1.299.4 1.168.1 3.707.4 18.688.5 1.397.4 1.055.0 14.5 32.4 176.5 188.5 223.3 896.6 331.5 125.9 15.2 155.7 223,3 562.3 57.1 2.014.3 1.482.6 261.1 763.8 5.816.4

17.837.0 67.8 油

78.7

號四

市場のほかを整立して市場を設立した。 一部を整立した。 一部では、 一では、 一で 0

る。 ちれてゐる。 ・ 本するここでは動物では一般。 ・ 本するここでは動物では一般。 ・ 本するここでは一般。 ・ 本することが一般。 ・ 本するここでは一般。 ・ 本述を一般。 ・ 本述を一。 本述を一 。 本述を一 本述を一 本述を一 本述を一 本述を一 本述を一 本述を一 本述を

際に降雨があり、地域はなくなっ

食出樂題

眼 場 ルトクド 江庄锡馬

量 量 /

(四)

猶豫案議定書に

は非常な機能を抱いてゐなさころ 七旦以来の熱雨により襲作物が一 がに生命づいてゐるが、旅順管内 の代況は左の城くである 全包来高深 生育板して良好にて 降雨のため全く疾生的さなつて といった。

◆果樹 成績良好なるも「書ダニ」「葉巻虫」の数生ありその被害比較的多い様でⅡ下極力驅除に努めつ、ある。

貨物と倉敷料

一六〇百函の増加

上式調印を終る

七ヶ國代表、英外務省で

『五萬圓を増加し

双方互譲の意思

補償金問題で卸賣料合長

田中市長を訪ふ

(刊日)

和剛服

陳友仁氏等一行

當分東京に滯在

に入ってから全

佛伊海軍

に就ては目下安保清者の当 衛中でいるが全権には軍令部次長 が野性身中期が大歓内定した

すべし」この重要進記を受たかめ ではロンドンの有力銀行家より ではロンドンの有力銀行家より ではロンドンの有力銀行家より ではロンドンの有力銀行家より ではロンドンの有力銀行家より ではロンドンの有力銀行家より ではロンドンの有力銀行家より では、アンドン では、アン で

その人権をどうして脱へるのですまだ他に百人、千人の父がぬます

に就ては目下安保海根の手許で鉄 ・ の海軍側全根及び競貨

れば全國の称作

陳氏は頗る焦慮の態

会に俳議 デト上政府に進言する事 ・ 農業保険制度の確立 ・ 農業保険制度の確立

程候に就て悲観。 はない様様で農事

事試職場では左程

の異動左の如く決定した

廣島縣警察部長・横井・直贈動左の如く決定した

警察部長異動

性をお持ちなさい。あなたや近着持ちなさい、別のやうに確い意志をお持ちなさい、別のやうに確い意志をお

送は格別の被害

書きへなくば るものさ見

協定交涉

佛政府再開同意

海軍人

群馬縣醫察部長 田中

次長に内定

任廣島縣

(任) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海

(日) 上海<br /

務官 加藤於克丸 長 近藤驤太郎

江 曾

連大店本 能四多田安取頭

加

湍

議に選ぶ野策の必要上さ見られて商廃島の様井部長の休職は府縣會

奉天軍の 張學良氏に要請せん 戦局が再び不利なるを機會に の關内撤退を 奉天官民有力者から

六

『東京特體十二日襲』 廣見政府代 「際響の既付師が供さしてであるが、上京以來二週間におよった。」 から武器院が根、大藝政な會總裁 其の他蝦鹿の決議を添し政務調査 「、之に長期低資温通の道を開くであるが、上京以來二週間におよった。 しかし武器職人の他等は間である、ホテルでは陳氏一行の流伝 「、、農業保険制度の確立で、しかし武器職人の他等は間である、ホテルでは陳氏一行の流伝 「、、農業保険制度の確立である、ホテルでは陳氏一行の流伝 「、、農業保険制度の確立である、ホテルでは陳氏一行の流伝 「、、農業保険制度の確立である、ホテルでは陳氏一行の流伝 「東京十二日發」本年度の米作によれば解解金を見てゐるさいふが、「大「宋」 「海」 を紹介 「本」 「「本」 「「本」 「「本」 「「本」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」」 「「本」」 「「本」」 「「本」」」 「「

恩給法改正

案作成

軍部の回答を待たす

行政整理準備委員會案決定

ることに決定して同三時半體會し 後年職工会との では、一日午後三時より重役会議の事会議を開きまさして重役会議の事務に関する機議を行つたが定例重 の事

滿鐵重役會議

職員にして十五年一郡側はその都度廣立政府の開発差し四分の一を加算一線各國において腹々督促したが文

東京十二日登》行歌歌神郷佛委 総独歌正に関する軍部側の画答派 総独歌正に関する軍部側の画答派 に来らのので委は會は軍部、拓務

個、職様公価などを養行して辛う 南京政府は實験入一ケ月五百萬元 南京政府は實験入一ケ月五百萬元 れる谷府縣の事政職場より農林省 【東京十二日費】

でてこれが遺縁に斃めてゐること 「中京特電十一日盤」 群作電氏の 「他表に低命された」

植民地の加俸減額

一、中、小學教職員にして十五年 以上動織した者は恩給の停止 一、関給停止 受給者の勧勞所得 一、関給停止 受給者の勧勞所得 一、関給停止 受給者の勧勞所得

電泉政府の縦く限り絶望さ**観られ** 質符不可能さなつたので同會議は 概へによって三民政治が根本的に

妥協案

に關し

省協議

『ロンドン十一日發』マツク首相

見學する由

英經濟委員會

た主は、その道を辿ってゆくべ

しさせてはくれないのです

は、こてもあなた塗の目的を塗

それは今の他の中から

正問題に続き続く川崎輸設しまれた

三年間据置のみは意見一致 · 動見後原拓相語る

日

(勝東特電十一日整) 張椒、李森 南北の安閣を築してある、江橋衛 南北の安閣を築してある、江橋衛 東に心を寄せてある。江橋衛 撃

マートンドン十一日教』本日監地で は「ロンドン十一日教」本日監地で を モス式高速域影機大整、通信用アス を モス式高速域影機工整の数後注文 を モス式高速域影機工整の数後注文

韓氏通電

洲

等に何等はかるここなく、たゞ守い司令張作相、省長臧式毅氏守い司令張作相、省長臧式毅氏

以上の三大理由により将天總融會 りの同意を得、常極地義の操作権氏 の同意を得、常極地義の操作権氏 を擦ぎらげ避學良氏の確素を保礙 要氏地義服的を要請すべく答々内 の同意を得、常極地義の操作権氏

實施期一率一未定

張繼氏等廣東と

再び妥協を策す

將氏の下野を條件に

出動奉軍撤退

中止電命

間満解決せん

地方財務行政監督

內務省に統

關東州稅制改革 具體成案に着手

、植民地恩給加算年は三年以上 さ見らる 大極民地恩給加算年は各植民地 日中に内閣側に順原 を動年を通算す 日中に内閣側に順原 を動年を通算す にが、結局安協 日本の要求は立法の際考慮す したが、結局安協

近く第一回調查委員會

年後農村繁変委員會を開き農村員 る租税燃系の職立さ資施の公正な 遊を定むる飲め、昨夏來租税職等に養事。 では、一日 関東殿では風報の如く管内に於け 期も併せて同趣財政計畫自年の会プラブー・1 地方行整案の一部として立案

本の原といといる事は、非常に大 が命の上下端を吹る程度まで可能 ないが、新能等においても毎日の を運動であるこも見得ることが であって、かがまなりにないて、非は、非常に大きな後期を取ってものであって、本機に 如く報ぎられて居る最近の世界に であって、この意味において起等きな不便さいはればなられ、春じ ならじむるものであって、本機に 如く報ぎられて居る最近の世界に であって、この意味において起等きな不便さいはればなられ、本人 かいました。 大でルデングの屋上やチ おける長地離飛行の流行に繋ずる の大飛行を耽なる無意味のお祭り し、その屋上からでも離離に大きな後期を見かってもにないかと思ふのであった。 大水行の目的 と、その屋上がらでも離離である。 大飛行の目的 と、その屋上がらずも開きことした。 大心にないから思ふのであった。 大飛行の目的 であって、この意味において起等を介し、その屋上がら事が出来るでうになれば水 す能である。 大飛行の目的 であって、二の意味において起等を発した。 大飛行の目的 であって、半回民の畑きは先ごろのボストグライの草地り飛行等を介した。 大が、新能等においても毎日の る連動であるこも見得るこ思ふの はならないさいふ事は、非常に大きな後期を集立した。 大飛行の目的 であって、新聞等においても毎日の る連動であるこも見得るこ思ふの はならないさいよ事は、非常に対しても毎日の と連動であるこも見得るこ思ふの はならないさいよ事は、非常に対しても毎日の と は、「などもりをしました。」

十八千

航空より觀たる

九

さ、運転は手を振った。

で、彼は、著さうに眼をつぶつ

センチメタルな標準などに関され

はならないが、じかし、強い正

停頓

おる 郷事業、戦敵事業を並行して、他人或は他國の容易に企及し能は他人或は他國の容易に企及し能は、他人或は他國の容易に企及し能は、

大きな不便

「一大きな不便

「一大きな不便

「一大きな不便

「一大きな不便

「一大きな不便

「一大ななのない。一大ななのである。

「一大ななのないである。

「一大ななのないである。

「一大ななのないである。

「一大ななのないである。

「である、「である、「である、「である」である。

「である、「である、「である」である。

「である、「である」である。

「である、「である」である。

「である、「である」である。

「である、「である」である。

「である、「である」である。

「である」である。

「である」である。

「である、「である」である。

「である」である。

「である」では、「できょうなで、「である」では、「できょうなで、「である」である。

「である」である。

「である」である。

「である」である。

「である」である。

「である」である。

「である」である。

「である」である。

「である」では、「できょうなできょうなで、「でき

陸軍中將 古 屋

オートロジェインドンにおいては此のオートロジェインドンにおいては此のオートロジェインドンにおいては此のオートロジェインドンにおいては此のオートロジェインドンにおいては此のオートロジェインドンにおいてはかいます。

が修中しようさは思さなかつた。 お前にそのこさかち 縮を認んで謝りつざけた。 この間、俺はこった出る時にも 彼はさういつて、魔壁の上に俯 ぢつき俯向いてゐた。

眼を睁つた。 ですか?僕等ア競さま 「解院からいつここへ來られたん

おいましてやらうと思います……」なが別りました、変は今日警察へ さ、彼はまたいつた。

「対性、税、欠を脱へて、対生の 「対性、税、欠を脱へて、対生の 彼女は、ハンカチーフで練を押

電報を取り

に出すのな情感してゐたんだが…… をして、彼は、懷中から長女の

あんだ:

こうにこんな電報が来てる

東巻としてラクトーゲンの使用が年を増加しつゝある事は之れ一つに以上の理由 によるのである

、ば之にこす

田來ないのである、新様な状態の粉末乳化ドンノ〜繁殖するがラクトーゲンの株に水分をとってしまった中では繁殖が標に水分をとってしまった中では繁殖が

そこへ女中が夾客を告げた。 さ、先に立つた新吉は、聴きの 新吉の背後に、濱子、州子、素

れた粉乳を用ふると言ふ事は細菌の危険から逃れ得る第一の方法であるで乾燥し之れを頑ちに完全に密封したものであるから細菌の長人すべき捜査が殆んど異へられないのである

光に 中西伊 立

(60)

に思ってるたか知れない。……」 に思ってるたか知れない。……」 光に立って白し

き、素美は騒艦の前へ寄った。 志の胸中にもなって見ようちやな

山口みづき書

之助

「が生、分りました……」「が生、分りました……」「が生、分りました……」にが生、かりました……」 命さ思つてあきらめなければなられがお前に課づられた必然能な運 運平は、彼のそばに近づいた妹 も、重苦い沈默に囚はれた。 彼はまた、妹を呼んだ「も

夏ミ牛乳の

存問題 (主婦の常識)

かてやろん

よつさいった

ず必は夏 全備一等

愛兒の為に是非御一讀を詳しい説明書進呈します

店支連大店商卯乾 七六通縣山市連大

海の生物のエ

水產試驗場技師 牛 奥 貞 夫

製造が他の一例である

酷熱の濠洲風景で

く歐洲大戦争中は各國が互に競 が其の一である、 権間周知の如 が其の一である、 権間周知の如 が其の一である、 権間周知の如

日

れは一見頗る奇矯に衒ふやうたるものご云ふた憚らない。

産出減、其の一二ケ國に集中がある、例の世界に於ける金

蘇家屯の施設に

尨大な計畫

漁鐵地方費に計上

(=)

社

說

要するに今日の不景級に就ては色々の原因があるに相違ない、世界の學者が餘りに矢總早やに又餘りに多くの新發明を爲し之が又盛んに工業界に應用さし之が又盛んに工業界に應用されたこさの如きは、確かに其の有力なる一原因である。而して此等の新發明の後から後からと現ばる、限り、世界の不景級に就て要するに今日の不景級に就て

更に我國に最も關係の深きもれである。人組さ解する餘間のと系は甚らき打撃な受け是れな製造する我國の農村は質是れな製造する我國の農村は質量に悲惨なる窮狀に陷つてゐる。

を認識した結果、砂正戦略内定した総議した結果、砂正戦時のである、内定せる吹 変施される響である、内定せる吹 正数は清濃新規定も全く同じで手

否、之に打克って行かればなられ、

對東京俱樂部戰

惜

【東京特體十二日發記 在京中の流 「東京特體十二日發記 在京中の流 「大学の下に流氓形式を決て際から でがででいて巡田(歌)際氏 に於いて巡田(歌)の下に流氓形式を決て際から では、特點 1030五六七八九計 東 得點 1030五六七八九計 大学が資暗の一個は正田を本臺に 大学打に出たが後域なら人東京河 合投手足下を抜いて出て續を を打に出たが後域なら人東京河 合投手足下を扱いて出て續く中 合投手足下を扱いて出て續く中 合投手足下を表して 一、二 三型に寄り林の三面に河合離型 と三本間に対象され片田左翼左へ 上本間に被殺二進せんさらて 田再び左前に安打を放 田再び左前に安打を放 三領低投を柴原の中堅安 「一和田も選り一季四 打に和田も選り一季四 三直で正田で併殺▲東京三者凡 心山下の一邪飛後片間安打濱崎 をならべて生還中村二三量打に森、片田轡

森、片田轡

29 0 4 1 1 4 3 24 10 1

27 4 5 1 2 3 5 27 12 1

領事、森島、森岡県領事、鈴木少の原長、財政職長、省工商會長等の原本のに日本館から桃郷

出來高/顯斯 七十六萬圓

瀬式毅氏の謝辭あり九時過ぎ骸會粉等列靡、木村理事の挨拶に難し

した《奉天帝話》

○現物後場\單位以 ・現物後場\單位以

七月旅大貿易

依然不振狀態

出來高(銀對金 四千圓

省政府治牒、賞金雅、何興城氏等省政府治牒、賞金雅、明朝郡民、東鐵局長、東鐵局長

り裡に乗換を終了した

鈔票小聢り

الما

(入瓶體液)

角町河三場広西市連大 掛の一四五話電

州小倉唯一の工場 物………洗つてつや 物に臭味を残さね すっている。

てつやう

標金軟弱

本も併設 林も併設 本も併設 本も併設 本も併設 本も併設 本も併設 本も併設 本も所設 が東京田の田三県へ猛進したが中堅片田の 選球に借しく刺さる、片間中飛 に退いた後投手の一 曇牽制墨投 に出下一撃三進、濱崎四球 天

神 な投げ込む曲様はがな

田)▲奥へも死球= 2736ヵ1円19 高橋▲二量打=迫畑 1919年19 1919年19

|二戸來2(安藤・中島)▲試合時間=|一四||如▲併殺=實業2(安藤-山田・津田

△第六回 滿俱疋田左翼安打し山下の中飛で二進、片岡三旬、濱下の中飛で二進、片岡三旬、濱上 世選濱崎離県して一曼に刺さる 東京二死後矢島左中間二豊

四球宮武三直で空返球に憤死

五百九十二側實に三四四分の減少五百九十二側實に三四四分の減少

奥地市況

0011日。

▲三回まで兩軍無得點四回表先づ

六萬六千四百二十九圓、齡八七百七萬九千三百三十七圓、輸八七百

當市閑散

科兒

院醫原相

滿鮮總發賣元

一五九六番

×

旅大麻港貿易額は輸出チ三百八十

商

品

△第八回 満俱一死後山下四球、 片崗投手強襲安打、資崎三耶飛 時間投手強襲安打、山下 生選 和田の遊伽に芥田封殺◆東京 〈 満俱遊撃梅本二量柴原〉二死後 ※ 新田四球林三、遊問安打とたが

からのな

ち損こなった球は遊覧左を単打して野一壁走者中心の二盛を除がんで野一壁走者中心の二盛を除がんでいて二点に走るこの時安藤の打るして一点に走るこの時安藤の打るして、一点にある。

鞍山製鐵所工事事務所長

滿俱〈東京投手水原、

後明大攻撃大いに努めるも窓に慢を明大攻撃大いに努めるも窓にでした。 三撃打に全走者を洗ひ宮武のパントに更に一點を加へて四點を得▲

五五五

九九九 三五九 三五五

餐に終り窓に長蛇を選す▲津田こ後明大攻撃大いに努めるも途に散

經理部主計課

下津春五郎

務を命ず(各通)

市場電報

語華譯放科

五三四

あった第一回戦より衝刺の勢を戦後得の聴墜さも云ふべきもの

監理が管理課勤務か命す(各通) 電 参事 休口 精一

神 戸 特 空 和現地 1011 先物 三四0 大豆類物 四10 先物 三四0 東京 床 式(長州) 東京 木 式(長州)

刊新最

従來多くの書で見るが如き日本語を直輝的に譯出したものは實用には茲だ緣遠い、從來多くの書で見るが如き日本語を表見さして、殊にまた華語教授に經驗を有するの人で考古は多年諸媛語學檢定試驗委員さして、殊にまた華語教授に經驗を有するの人で考古は多年諸媛語学檢定試験委員である事が必要條件である本書はこの主旨の出來上つた譯文が精練された中國語である事が必要條件である本書はこの主旨の出來上つた譯文が精練された中國語である事が必要條件である本書はこの主旨

明大康科謝大連管業の決勝戦は十二日午後四時五十分から實業環場と応収工能(環盤)大藤(震盤)に旅で工能(環盤)大藤(震盤) 實業勝 對明大豫科軍決勝

であれてはいい。 であれてはまふった。 では、その人民をいるとくれて真に関力性活動には、その人民をいるとくかとしての人間をなっているが、この結びからない。 ない、即ち撃があめいのあるが、この結びからない、他って下腹部の数がもさって野神をもはつて下腹部の数がも出ているが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるとしている。 といって下腹部の数からはして子が成が、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、この結果があるが、このおりはなら出てくなられている。

雄が子を育てる

本社後援日本軟式野球協會滿洲文本社後援日本軟式野球協會滿洲文 部主協の大連軟式野球大會第三日 の大連軟式野球大會第三日 ▲保安區四A-三三菱商業 ・ は道經理十四A-三三菱商業

連クラブへ一中球場)以上四時開始

侧招待披露宴

木村理事の支那機搭徐披露宴は十

大四〇

界各國

酒類

食

糸

「雅鉄」?だそうな▲でも山下された。「雅鉄」?だそうな▲でも山下され

十分發列車で多 十分發列車で多數先輩の見送りを科チーム一行は十二日二十一時三 大連軟式野球 第三日日戰績

をうでもあり意東 をうでもあり意東 をうでもあり意東 をなさそうでも 五品 をなさそうでも 五品 家本長官突然の

式(短問

發行所

数中日文化協會

發賣

能から膨緩するたちでれ」を無磁 がら膨緩するたちでれ」を無磁 が自慢だ▲そこで世間大 が自慢だ▲そこで世間大 が自慢だ▲そこで世間大 を が自慢が▲をこの世間大 能所長には対な紙がある▲「腰おり客には対な紙がある▲「下が空中の山下が安には対な紙」を表示においてその高いは、三年の安には対な紙がある▲「下が安には対な紙がある▲「下が安」といる。

流九九九九 鐵四四四四 新〇〇〇〇

日本各地名

産

本松田京梅 郷 都 名 名 密 物 時

舶來化粧品專門 英國ギ プ ス會社 ス 会社 ス カ ソ ン 會社 哈爾濱=哈爾蓬空·族順=文/ 奉天=弘文 堂。撫順=能·本 奉天=弘文 堂。撫順=能·本 等天=弘文 堂。撫順=能·本 店約特

始《完全》學習用華語教科書生。 佐々木盛一先生著 五百頁 定價金貳圓五拾錢 送料土品 常 松 尾 紅 り 仙 庵 堂 聖徳 街 三 丁 目

*

そく治療

解せぬ電燈料 Å

> 內以行十五 迎歡書投 すらさは傷中

在動手信は本郷の一割減(但と本郷七十五個以上)
社宅料は本郷の一割減(七十個以下は従南通り)
以下は従南通り)
家族手當は全部五割減

なる程安い なる程安い

地へばよいのではない 機料三億分七十二

は三キロ使って三十

◆今年から電燈をの値下げで書々 なったが、どうもよく考へてみるさ電灯料について書々には解 せない點があつてならない せない點があつてならない ないかも知れれ、三キロ三十九 安いかも知れれ、三キロ三十九

くなるまで観せば満電は不管の ぼるこさにならぬか

が出来たら戦倫やも下げて然る が出来たら戦倫やも下げること も知れ口が電機料を下げること も知れ口が電機料を下げること を発料を値下げるない。

◆ 想はごう考へても軽齢をなるものは永久に似すべき性質のもののは永久に似すべき性質のもののは永久に似すべき性質のものでないと思ふ、いふまでもなくを接のための準備であり酸倫である。それが能療料よりも準備をある。それが能感するが吸きことは何さ

内地株聢り

當市閑散

来薄く見送った 来新は三十錢高に引け地場株 ま力株の大引鞮りを入れて常

* 米

三三三三 三三五六 三三五六 四九六

市、沈年世

九〇〇九五五〇

紫外線透過硝マ

御家庭奥様の御嬉び 毛織物、 絹織物專用化學的新發明

出張所 奉天平安通二〇

心の愛護・體の愛護

赤坊の心身の正しい發達を妨ぐ

お母様の無智と不精

きもので、がん城の大戦である場で、おん城の流くが像に機能をできて、たからその結果は恐れてきであるで、がん城の流くが像に提乳するとます、しからその結果は恐れるとである場合を表しているがあるが、

大 ん焼にさつて最も必要な 起したりするここも心得ある母親したりするここも心得ある母親

り、東客のある版毎に無理に指りり、東客のある版毎に無理に指り

おん城の野純な心は複雑さ不規則 からとうしては、大人城の野純な心は複雑さ不規則

るだけ安らかに眺らせればなりま のにもて機をひごく上下に捨つたと出来るだけ酔かに、そして出来 りですが可愛さのあまり弄びものは出来るだけ酔かに、そして出来 りですが可愛さのあまり弄びもの こみの中に連れ出したり、味器館

失ふのです 大多のです 長素のそれに最悪の子な は著はそ

ミスの名割を世のお母さんがに味

ける心の愛護は同時にからだの

清内 第もまたがん坊の愛護に

満―洲―の―女―性―

この問題もまたことろ的であること

際(三時間乃至四時間)を置くこ れは消化の所要時間だからです。そこは生理的に必要であります。そ

授乳の間に一定の時間的間

無房裝置は除程うまくや

はなはっているの中にれているとはいれたばかりのべちやんでも三 せて外に出して置きます、ロンせて外に出して置きます、ロンセスがに出して置きます、ロン

村料――自身二十多、横瀬四個村料――自身二十多、海苔少々、三杯酢(酢一勺水淋少々、養油一勺、味淋少々、養油一勺、大根二十分、大大根二十分に、皮が大きり、砂糖一多、大根二十分に、皮が大き焼肉器にかけて洗き、焼き供は水に浸し軽く終り、砂糖できるこで置きます、大根に切って冷まして置きます。大根に切って冷まして置きます。大根に切って冷まして置きます。大根に切って冷まして置きます。

材料──日味の魚三十匁、牛蒡廿五匁、那半分、食鹽少量、倘の材料へ澱粉、削節一匁、醬油一勺、味淋少量
「で「一」で「一」ではに小口切さし、米のさざれ。

麻椒で調理し、水浴からた郷桃、 り配にて煮出らを作り、鬱油、 その上に縮をかけます。総は館 をの上に縮をかけます。総は館

さういふ事になりまずれ

安証 でも安原アパートつていふけれどお家覧だって魔分高いしなれんか際下の人だちは燃度が巻れんか際下の人だちは燃度が

事を聴けてそれによらせるので で、飲家を終てる●に一定の規

白身の魚で

だき、他に三杯酔を掖へて置き、御館金にて掛りおろして置き、海

夏向の料理

◇…卸三杯酢

まぜ合せ、三杯酢なかけて海苔。

▼調は理

からりまきます

三杯酢と寄せ魚

も安静アパートなん

日



注 居を重とする 座談翁

满岗

窓を 寝てもよい のでせう?

を習 程は英國でも、フランスでも最も悪い季節をすごもました。

総核兄の學校では屋根だけて窓をきせて足を毛布でつくんで を強強させて足を毛布でつくんで を強強させて足を毛布でつくんで を強いたければいる部屋に、外に が、年中こんな際放された室で

細管 私は風上の窓をしめて風下

れるのが続ろいるやうな事もあた聴くてるる所では窓を開けて乾燥してゐる所では窓を開けて

日本内地でする、温氣があまり 多いからぶたあけてれたら咽喉 西瓜を見たどけでも夏の郷を磨す、一一一般の上にのせられた輪切りの赤い、一一のはその女王さされてゐます。

く攪拌し、これを細長く丸めて 社會藥毒本日



くかいる。

てから鹽を製油、砂糖で煮詰めま すさ、これまた結構な個点が出來 のな戦備し、これな油でいため やはり程のやうに白味の 何と貧弱な事後上

健やかに

夏松清

左にうち

da

白鹅

一大学の作用に作りを感動物系 作品を暗楽にする作用が強い、從 では、一般にの変にする作用が強い、從 では、一般になる作用が強い、從 では、一般になるでは、一般になる。 では、一般になるでは、一般になる。 では、一般になるでは、一般になる。 では、一般になるでは、一般になる。 では、一般になるでは、一般になる。 では、一般になるでは、一般になる。 では、一般になるではない。 に適度の刺戟を異へて、體内に

24.40

イーブ引いてくれー」 ります、米は申すまでもなく氷鉱であって解けて水さはならず直がっては利であって解けて水さはならず直 供の熱を吸收するこの事であります。 は何故でありませうか、これドラ に何故でありませうか、これドラ ●…ドライアイスの 電出されましてから 電か敷年とかたゝな 文化人の臺所に進出 イ・ア でありまして、粉自身の冷蔵装置なってありまして、粉自身の冷たさはったがを使ひましたのではごんなが法常温では零度であります、それ故意温では零度であります、それ故意温ではできない。 來ないのであります 撮氏十五度以下に下げることは出 ス **E** (**B**)

學科

ドラ

版。では場々さ冷酸装置を施すここが ち必要に聴じまして零下四十度ま ちの要に聴じまして零下四十度ま フィアイスはそ

アイスは温度を平均に長い間保つ によりましては氷の十倍 即を使ひた

室内さいつても上さ下さで

四瓜の皮を

斯うして利用

夏むきの美味し

香物ご佃煮が出來る

今四 いって大豊智成します、窓をおけるにも冬は二枚の窓の岸が、だけ開けて岸がはもめるのですだけ開けて岸がはもめるのですができれの窓の岸が、窓でせられい。

に寒暖散を置いて話らなくては

つまり體さ同じ高さ、ペツーがい不能が終きすぎるやうです。 村・なりませんれなりませんれっていゝやうですれ、健康をのっていゝやうですれ、健康をの大人だつたらたさひ家皮でも身に変し支へありません。 美味しくいたどけます、この時内 味を薄く切つて際で揉み、酢と砂 鎌尾根を登撃して行く。 全を登撃して行く。 の功名談が煩草の塩と一緒に渦の数生小屋の夕は山の猛

フレッシュ・エアーさサン・シャインさをなるべく暫に受けさせやうためなのです、顔さ名のつくものは飛んごあたへられてのませんが成績は大甕いゝやう

・ です、ですからあちらでは却てです、ですからあちらでは却ていないが、当時になるかられています。

くしい夏の果物のうちで

まりに成労を修禊する気めに惨事・競技の際でも影響する時でも、あり登山に帰らす、其の他運動 疲勞の原因

折角の美味といものも不味くなり 側の質を附けたまりやりますで、

がなければならない、葡萄糖の燃 には一部でき、筋肉運動が必要である である。 を選が生成されて筋肉で動かる を表が生成されて筋肉で動かる を表が生成されて筋肉で動かる を表が生成されて筋肉で動かる を表が生成されて筋肉で動かる を表が生成されて筋肉である を表が生成されて筋肉である。 他されて疲労が緩和されるが 東洋醫學の真體



作業服を

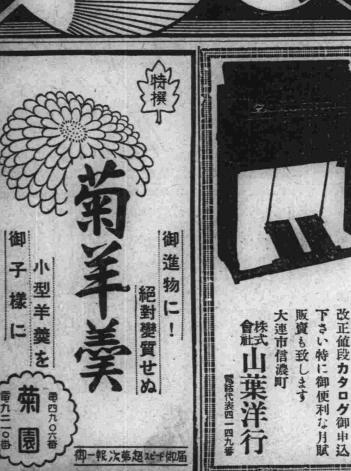
大連市連鎖商店心濟核通



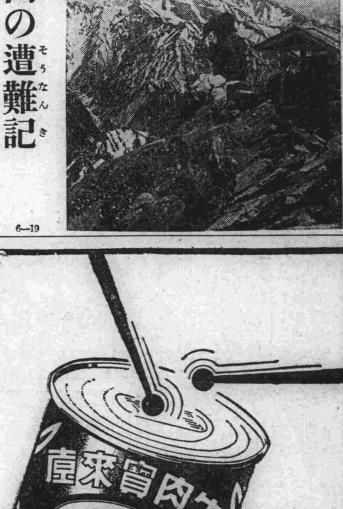














ぬらい切罐 坊

ぎゆつと

P

に機して居り交通機関に脱て西に 整帯水を隔て無線さロシアの癌果 の場合に音味は地理能関係に脱て一

吉林の監獄

法権の暴威を振ふ

さながらの生地獄

不良并水の使用禁止のこさ

二十九日白音太來を出發してサーニ十九日白音太來を出發してサーニーカの難與公司に強整する での反か難け一架千里の大平野での反か難け一架千里の大平野

を開き取容所に充富する 客所 川員の時は鰕西隔離 海、北に外夾者の出入並 瀬、北に外夾者の出入並 瀬、北に外夾者の出入並

池内の石灰撒布

左胸部に角

珍しい患者を診療して

醫大診療團一行歸る

る取締りた動行致したも 露店に往々不衛生のものあるた 露店取締に関する件

日

極病的戸口調査な實施する

り之が實現な希望す

社債の

肩替りが

利下の先決條件

なるべく速かならんこさを

、野糞に對する清潔消毒法質、各戸の清潔保持・関する件が除草清掃、空地及び宅地内が除草清掃

所の清潔保持の件等の件、水泳プの件、下水溝掃除の件、水泳プの件、下水溝掃除の件、水泳プの件、水泳プの件、水泳プ 職制改正の東拓について 杉本奉天支店長語る

馬賊交戰

は千山の西南五里王鎌屯農徐東は

本里標の二十里四がから集つて、、今時に表現に動者が出 職びに四十分間で完全に治療して、その間一日から三日間愛問 からか解析に角を持てあったので、要古人などは又優通響をして、その間一日から三日間愛問 那人が来たがこれも容易に切りまって、全の間一日から三日間愛問 那人が来たがこれも容易に切りまって、一々治療では来なり、一般の思力ので診療を解析した。その間で見事主解で取ったがその 教育でなった。その間で見事主解で取ったがその 教育にから、その間で目から三日間愛問 那人が来たがこれも容易に切り だん、その間で見ず主に全く際日した。そ それから年頃の支那嬢が離ばよ で一々治療でありれがらあれだけの患者の大変が れてし暇さへあれば大道に診療 いが飛程(俗に三つ日)なので 起一同無事に努めて障害といると、要古人などは又復通響であった。 この大学野 れてし暇さへあれば大道に診療 いが飛程(俗に三つ日)なので 起一同無事に努めて障害といの大学野 れてし暇さへあれば大道に診療 いが飛程(俗に三つ日)なので 起一同無事に努めて障害との大学野 れてし暇さへあればけの患者の決験を と非之を治療して臭れわかさの こが出来たのは何より喜ばらい なった。 この大学野 れてし暇さへあればけの患者の大学財 れてし暇さへあればけの患者の大学財 れてし暇さへあればりの患者の大学財 れてし暇さへあればけの患者の大学財 れてし暇さへあればけの患者の大学財 れてし暇さへあればけの患者の大学財 れてもの表別ので診療と解釈が変した。 この大学野 れてし暇さへあればけの患者の大学財 れてし暇さんが非常ないが、それ 職がに強く症が表別で強力を関係が表別では、大学教育に関係が表別では、大学教育に対象とに治療して変しました。 このは、 このは、 このをでは、 このは、 このとは、 このと 愈々本式に提出

局二件

新電話番號は微楽の番號に二千番婚談記念日たる九月一日に帰換雲の一次記念日たる九月一日に帰換雲の一次になったがこれによる 自働

所庶務主任

号トンケ

ミンソト本 号フーリ

号ツーボス

で近く開通

京本学 (1.1. 法機関でして地方と ・ 東北監局に取出しています。 ・ 東北監局に取ってでない。 ・ 東北監局に取出しています。 ・ 下では、 ・ では、 ・ では、

黑部指令

憋々傳染病猖獗期 奉天の徹底的對策 檢病、野菜類の消毒、患者の收容等 ー數項に三て打合せ 際豫防錠を配布するの要あ 関大警院のあるもその施 関大警院のあるもその施 関大警院のあるもその施 関大警院のあるもその施 関大警院のあるものな際求されたいさ を表示有いたででする。 では、大人のでチブス錠が赤洞錠さ同様である。 では、二千錠來であるので本月下旬がなるので本月下旬がなるので一般市民は基地之な服用がない。 なるので一般市民は基地之な服用がなるので一般市民は基地之な服用がなるので一般市民は基地之な服用がなる。 なるので一般市民は基地とな服用がなるので一般市民は基地とな服用がなるので一般市民は基地とな服用がなるのである。 来の方針を決定する事さなつた。 でありません 大学 に変しる 本會語 な際 優報告の上 際での方針を決定する事さなつた

(四)

は難に答部門委員に於て各々調査

安奉沿線の馬賊

益々勢力を擴大

支那逃亡兵まで出没

旅順少

ブ生活 年團の 委員會本會議

安東埠頭寂寥

配貨の関係上新舊時 ・ 十五日迄の間にて今 施するさせば來る十

か豫定であるさ

其熊熊協議を宿ふ事ので十三日午後二時

のである

東方に侵入し食物を強 の部下二十四名の一團 の部下二十四名の一團 の一馬賊頭

西門子公安第二分隊以十七名が本した。 馬賊の被害 ダンス場許可願

がいづれも適當その時機たる事に異する事さなつたよって本協議會は 第一回の養起人會の如き形式され り發起人さしての動態を行めたる 市中順電なる者十餘 一部中順電なる者十餘 一部で換を借り間保 明まる者十餘

十日公主領より南下十日公主領より南下十日公主領より南下十日公主領より南下十日後四平街へ前奉天公所長 十一日前奉天公所長 十一日前奉天公所長 十一日前奉天公所長 十一日前奉天公所長 十一日前奉天公所長 十一日前奉天本務所額道課營業

沿線往來

十一日朝來奉同

本 東東 東東 東京 七月中郷天東県所の郷大 的代時も設 る本傳な味美

お安くお泊りが出來る報 持よ く 観 輝 く

澤

庵

壽

滿

テ

都話ニニ六五七番 電話 五八一六番

旅順商工協會

改立に決定

排日册子配布

電に 地すれば六十餘萬國の滅砂を 配してある前鞍鹿は至極聯散斯で ▲阿比留乾二氏(新代奉天際天幹事)同上日家族引纏めのためた 連へ十七八日風崎任の銀定 連へ十七八日風崎任の銀定 ▲ 見切前鞍山地方事務所長 五上頃入連星ケ浦に移住 五上頃入連星ケ浦に移住 日家族同伴長春敷赴山田家族同伴長春敷赴山田家族同伴長春敷赴山 ▲富水製織部次長、十一日朝輔鞍 ※事の都合上退職奉天にかて開 ※事の都合上退職奉天にかて開 ▲太田前鞍山 ▶長 二十日頃郷里 表、十七日家族引舞が離長大連三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上三族側副官)同上 本大尉(長春守備隊長)十日赴く智 **新任鞍山地方事務所係長** 大公費主任) 十 第久 • 社會式株車等自本日大 医大京司 造器 店 商 米 日 社會式株 要校 町馬原隆古名 网络島登阪大 五座県京東 一町本化 命 町全黄城京 前番周 間 (登選ゲロタカ 約券ト店車等自名有地各要板 ピーチスキン

各國製ベニヤ板

販賣

製

區

板



海戏是肛門狼馬太是者人 いはちきれちちろう、たつこち出血ちっなり有名なる専門家情のみくすりれる、気がお病気は若にはせぬ 十多八月七五名 十四二

すき焼御二人前(酒)本 ・ と 焼御二人前(酒)本

- 店商の等吾 外の服洋紗羅 貨 雜 諸 を寄立御度一たじまめ始た いる下較比倒を段値さ物品

町葉青市順旅 商 野 吉 番六八一話電

石炭商·倉庫業 千代田生命保險相互會社代 理店朝鮮火災海上保險核式會社代理店 矢 電話三〇六番 電話三

質話三〇五番

旅順市敦賀町角

堂

衙日

興

電話五の六

大連惠此須町二六

夏の超サービス 如何樣にも御相談に應じます。何卒多少不拘御下命下さいませ 御結婚披露散送迎其他御宴會

農 闡 電景二〇番 場

月驛

生みたて第の卵りンゴ、水密桃

ンゴ、

壽 話 七六番

一 五人前

奴

季節向||御來客に…… 新味と――御手軽

語商

道世 具帶版

緒**

十数回の使用に集ゆる意見調節

で性病疾助用の最高級品はする

以て練覧された一種のサッタで ピーチスキンは動物質を

何に好き豊富に揃くて特別安信に熱快 氣 祝さ御返禮品

何り、使用感なく 張和にして

進物品調達

旅 順 商 店 內案

院 大連市岩代町十番地 電話八五九九番 はて なぎ 三六十 五錢圓 想器な

す

共連市武器町七 增田貨物自動車運送部 輸転七三七〇番 北京料理 電話パセーの曲

理を始めて居まず 大連市伊勢町八 割烹 科器尿淡毒梅層皮

横國雅幼場廣西 番五二三四話電

取

目 扱

品

暑中御伺ひ 申上ます 本阪

天空三八番 際痛手足の痛む御方様 もあんま

八

八五七番地震町三三番地



すどらんハンカチ香水 本 いらん三百番 定價金 定價金一圓三十錢 ハンカチ香水 一圓也 萬人向 0

其他食料品物類、鹽、海産物、砂糖、糖詰類、水材、硫安其他化學肥料、配精其他工業樂品、金木材、硫安其他化學肥料、配精其他工業樂品、金木材、硫安其他化學肥料、配精其他工業樂品、金、清洲特産物、麥粉、石炭、コークス、鐵道用品、清洲特産物 三并物産 太會社大連支店 運送業、 長春、哈爾濱 (代表)七一〇一番



歐米商品直輸入 材藥品、 限らず直輸入の御需に應ず

寫真器類、 皮革類、羅 発 、染 其他歐米雜貨、 毛布及び材料品、 食料品、農工具、 、特許品等何品に材料品、時計、文農工具、其他金物

讀者慰安映畵 分が残って居るから希望者に取って居るから希望者に取って居るから希望者に取っている。

映畫世界橫斷」

大を好む

ト譲受け度と性質獰猛関町一三七 村田

に謝禮若被 だい

吉

立ては同町内倉の熱健所と動きを しては同町内倉の熱健所と動きを しては同町内倉の熱健所と を変更になりによって愈く を変更には整度がの家屋を改築中である本月末までには完成の見込でそ の時には郵便局でもで変けるを が称も変分緩和され同町方面の人々 でこっても多大の便宜を受けるや 青葉町郵便所 下田博士講演

滅蠅運動成績

十銭子供は五銭を取くことになっ 古を無料さして場内整理さして大人を無料さして場内整理さして大人

明大黙察天倶樂部の野球戦は十三日午後四時から國際球場で懸行される筈であつたがグラウンドの不 電地の電路駅では十日小學校にが、 で呼名駅呼あり軽公袋の内容に関 する注意ありて展科試職に次い で呼名駅呼あり軽公袋の内容に関 する注意ありて展科試職に移り岩 であれる。 で呼名駅であり、 でいる。 でい。 でいる。 るのでなるべく多数水融ありたと 地方事務所社會保証艦で十八日午 地方事務所社會保証艦で十八日午 簡閱點呼執行 福夕六時二 一名は十日午

對明大戰中止

+ 月 年

Ξ

署長ら挨拶

ダンス講習會

長安東浦鐵社員會婦人部追儺、地方五日迄の四日間雷地大和校譲堂に然て県際、監督を開催すること、なつたが講覧の問題では、大日本新遊戲研究會長

事務一般の見学及び實習を行ふさ事務一般の見学及び實習を行ふされ十日奉天教脈順署に至り警察官練習所高峰科生徒六名は十日奉天教脈順署に至り警察

貸家

貸間

貸家

(株府臺一一〇番六、四半 (東)

専キツ

院廣骨整田前

三九 通西連大 甘五七五八電

破天荒の 破天荒の 大勉强 大勉强 一体には対のか一泊の大地には対のか一泊の大地には対のか一泊の大地には対のか一泊の大地には対のか一泊の大地には対のか一泊の大地には対している。

水便完計番地 七下の場所パスの使あり 電話二一〇五二番 地質町 1番地 七下

東ボタイヤー 大連条町 東町 牛乳

牛乳 バダ

(付無) 電話六一三四代報 電話六一三四代報 電話六一三四代報 年乳株式會社

强力治林新藥 伊利格諾賓 Torigono bin 東質元・日本橋楽局 東質元・日本橋楽局 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 我先生創製

人連機番前電話八九四八番 は國家興隆の基本なり

やきとり 小藝物

●筝三枚教授 若狹町井四電六六七二 若狹町井四電六六七二 若狹町井四電六六七二 一日流 福 谷 秋 翁 ◆ ◆ おでん

よかん

現見無端質費にて削預り致じます 安心會ま 養婆後野静子 養婆後野静子

徽章 飾•材料 花

大連近江町西広場角 電3910

うなぎ丼 電流が出まれます。

敷物漆器 家具裝飾 大連市信濃町へ市

世のの成立を実現ってはいかんソー!

「世の方を実現ってはいかんソー!

「世の方を実現ってはいかんソー!

騎手試乘會

きな関係し終了後重要事項を協議 を開催し終了後重要事項を協議 を開催し終了後重要事項を協議 の職制改正で閉鎖の上撃天に引揚を決定したのとなる。 用度支庫閉鎖

五十銭四十銭の特別販行である 七十の三十間昭和間に上映される が生首の燻製を築しむ食人種巨象 が生首の燻製を築しむ食人種巨象 が出ラスク映画で入場料は七十銭 世界機能一味能は来る十五、六、世界機能一味能は来る十五、六、

女中 入用

三拾銭增

金 九 拾 錄金 九 拾 錄金 二 九 拾 錄 金 一 九 拾 錄 金 一 九 拾 錄 金 一 九 一 國 五 拾 錄 金 一 九 一 國 五 拾 錄 金 一 九 一 國 五 拾 錄 金 一 九 一 國 五 拾 錄 日案内

電話と金融

門之河町影瀬 日本棋院大 智字 速成

青 堂

そめし

德 電話 二十二番地

品產國 獎省 純 0 勵 務 內 日

十八千

さ見られてゐる

鞍

金州警察等では十二日左の二巡査を州警察署では十二日左の二巡査を州韓前派出所勤務・片桐巡査・安藤巡査・

白帆

此印に限るを被対性紙は

クサ 及胎器の特効素有まず 大連劇場降根本薬局電六七八二 大連劇場降根本薬局電六七八二 大連劇場降根本薬局電六七八二

外科性病無疾

会木丈太郎 電話四六九二番 会木丈太郎 電話四六九二番

料金最低應御相談

療治お望みの方は

興盛廟の秋祭

旅

大連警院の乗動に際し金州分院でも監察局の飛田当低し大連本院に転載する機様である

一覧の では から 大地 に に 正 百 目 で は かっと 大地 に に 正 百 目 で は かっと 大地 に に 正 百 目 で は かっと 大地 に に 正 百 目 で た から に た り ら 上 げ た り ら 上 げ た り ら 上 げ た り ら 上 げ た り ら 上 げ た り ら 上 げ た り ら 上 げ た り ら 上 げ た り ら 上 げ た り から 手 後 が 多 2 一 で の 次 4 で の 次 4 で の 次 4 で の か 5 で から 5 で の か 5 で から 5 で

(日曜木)

師も來署とて武道の視察をなすさ
が監日は観道小園範士弐道島田牧
が監日は観道小園範士弐道島田牧

九日同上

変店 大石輪製造権利付商賣向 大石輪製造権利付商賣向

鹏米太郎氏長女妙

古本 高価質受 市内但馬町二〇 女 光 堂 市内但馬町二〇 女 光 堂 神田書房 電話四五七一番 神田書房 電話四五七一番

本株 精合築、特別大連沙河口大正道八五 三共商会 大連沙河口大正道八五 三共商会 大連北あり

サーモッ 大連市 二葉町六〇

時間修繕 一番

深連町二〇一番 電八九四八家の事 お灸 家ハリ灸専門根

西公園町六九電話八二〇三番

語呼出八六七九番 十大、登玩犬、各種中 十大・変玩犬、各種中 十大・変玩犬、

引越荷造

海陸運送 通關代制

金州一定期二回

病院の異動

警察定期召集

貸席

電話ニー〇四七番

▲月見町五 研谷春雄氏長女陽子

T た

標花臺嶺前莊 の

西品 祭三銭商品券五分引資金 所加三五電車通四階大連案内計 大連電子 大連案内社 西通三五電洋行は確實だ公平 大連案内社 電話・大八三電話九八〇一番比較 音 が 表 電質並に 金融 変更 に 金融 変更 に 金融 変更 に 金融 変更 に で 生 た で 生 た と で ま と か と か と か と に か と

製に付三十名

蓄

音

日

子供二十銭である

入場料は大人五十銭、

市民會の總會

金

安滿の成績

殿には土木変響講像架の倉事光殿 時に就て」の座談自然過報告の含 等に就て」の座談自然過報告の含 時に就て国の座談自然過報告の含 時に就て国の座談自然過報告の含 時に就て国の座談自然過報告の含 時に就では、 一般では、 一をは、 一を、 一をは、 一をは 一をは 一をは 一をは 一をは 一をは 一を

日分會では一般貧民救済のなめ慈悲なが七月中に於ける施療をもて居るが七月中に於ける施療を者數

世界通 多久島 電七四二三 ・ 電話六一七九番 村 井 電話六一七九番 村 井 電話六一七九番 村 井 電話六一七九番 村 井

開設を政府向高燥地連山夏京を政府向高燥地連山

を整理しては野歌の別であるない。 を中心さして成立せんさしついる。 ある際だから甚に酸的くであるない。 ある際だから甚に酸的人性組合が民から表になった。 ある際だから甚に酸的人性組合が民から表になった。 ある際だから甚に酸的人性にない。 ある際だから甚に酸的人性にない。

伊勢町大竹下商店電三九三〇 伊勢町大竹下商店電三九三〇 伊勢町大竹下商店電三九三〇 器

節節向の鰻、川魚の自慢料

林 濟生醫院

数話セハ六七 病 業

所 在 地 **华莊、安東縣、奉天、** 業、造船業及附帶事業物品販賣業、問屋業、一

大連市山縣通百八十二番地 保險並に船舶代理



社會式株車轉自本日大

車











沙州

满

幸校

日



日三十月八年六和昭

物

荷揃

バ

レット

サムラ

さくらカ

向メラ

三円五十九

各判有り

會員の特典

旬元

市田喜高家

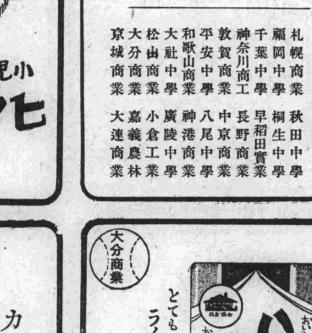
营業種目

電士鍋、人绢布



(六)

断然! 養兔界の貴公子!! 原 CASTOR REX 名 カスター レッキス





會





郎太幸田是



期短期長

员引取般一所引取式株灰大



角

仁丹のんでカツ飛ばせ

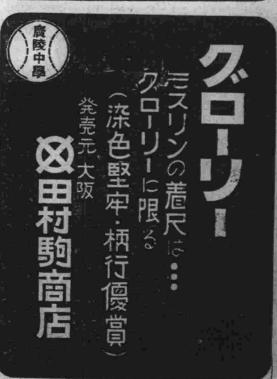
悪疫も

飛ば

F







の住宅はか用に、青碗のライオンの口にあて、文字通り間では夢のマ…堅い、冷つこい、水盤の縁にそつて、真體をまるく様にとめ、そ

明日縣神の山炭坑から、三日都 安那の専だが今年の高等者試の 出日縣神の山炭坑から、三日都 安都有は、受験者二千一百八十五子の鄭の仏形を開出した。その中 及第者は、受験者二千一百八十五年の高等者は、一旦 人の中、一百名だった。科目を見 になるもの及び要求に完全に継続を 十四人、外交前報事能六人、継続 れるもの及び要求に完全に継続を 十四人、外交前報事能大力 に対している。

の騒きを知るさき、微は午眠の腎臓に脱はで性微、あらぎて、私い難から覚めて、現営の悲哀を眠はうと共に、

後い、日陰、原しい臓、慌たゞしい車脚の騒音を子が覗き聞いて

そ目には、なんさまア危ッからい午睡だ

椰子の葉の化石

始ての高等考試

石の獅子を禁足には際歌物さして立派なもの

度が少しついてもまじめに行ばれ 無薬な事が支制の政治の進まない 無薬な事が支制の政治の進まない 無薬な事が支制の政治の進まない が少しついてもまじめに行ばれ

た際し以後其の海外輸出を禁止した。

の生活を持て、彼女の思まな近代女性伝検子は願かな處女

作者の言葉

作者はしばらく女主人公につのは、ざんな様で現れたか、のは、ざんな様で現れたか、

日

の債權横

(?)を種

12

年寄りらしい騙し文句で

老衰爺さんから捲き揚ぐ

新春年 大大学(本)を引致し、 大大学(本)を引致した。 大大学(本)を引致した。 大学(本)を引致した。 大学(本)を引ないた。 大学(本)を引ない に至り私女書像造行

に移送智能した、若田は親戚に能 を若田トヨなるものであるが、約三二〇五金官撃令井助次郎(ほ子熊)が、 この五金官撃令井助次郎(ほ子熊)がなる七月三十日脈炎で大連病院へ入 でしたさころ、今井には子熊がなく、娘の婚家先なる無順歴住教派 でしたさころ、今井には子熊がなく、娘の婚家先なる無順歴住教派 でしたさころ、今井には子熊がなく、娘の哲家先なる無順歴住教派 でしたさころ、今井には子熊がなく、娘の哲家先なる無順歴は子熊がなく。 一の子誌を離れてゐるため思ふや の手詰を離れてゐるため思ふや

り、三萬圓の慌機を無職で静敷機。 さて、急騰騰騰たる今井を巧に輝 て、意識朦朧たる今井な神社に奉納したがよい」

若田は今井が老衰の上に重病で意 公佩用の由緒ある鉢割か貴方に特つてゐる五郎正宗作、楠止成特のてゐる五郎正宗作、楠止成が はい、それには私が 東方に償権設書全部で質印さの 自己 が有する衛物三萬 製夫、京城、郡山、殿島、大阪、 大道の一大郎に太平洋無春陸横聴計画 を有して居り庭に太平洋無春陸横聴計画 を有して居り庭に温日來パシフィ ツク號に依る太平洋無春陸横聴計画 を有して居り庭に過日來パシフィ の上庭に太平洋無春陸横聴計画 である。大平洋無春陸横聴計画 である。大平洋無春陸横聴計画 である。大平洋無春陸横聴計画 である。大平洋無春陸横聴計画 である。大平洋無春陸横聴計画 である。大平洋無春陸横聴計画

も九月中には壯爆を

機能のスタートが切られる事さな 一般行する豫定であるから飛ど時か 素晴しい性能の 佛國の豆飛行機 り空前の肚観を呈する事さならう

豆戰鬪艦の向ふを張る

本月末決行の豫定で

一再舉

我當局に許可願ひ

世上山 した、夫れに依るさ 本月末脱塗に乾く薬定で使用機は これ、大れに依るさ

しては一様民地への郵便飛行に使用するの

手する等以ての外ださ石田飛行場 然も他の来が太平洋機能要像に着 然も他の来が太平洋機能要像に着

間刑を科せ 一個関體動く

二、三日したらズツと樂になる

濕氣故のこ

で、本年は毎年により、温度は毎日 一二九・五六度位のものであるが、 一二九・五六度位のものであるが、 一年の略時のため空氣中に多分の が、本年は毎年により

産みの悩み

接八十四ヶ村合併問題は十九日市『東京特體十二日録』東京市の隣

本年は例年に比して

大東京市

若草山観測所の話しに依れ

なのは水屋さんばかりであるが、 一条に耐い水の此の二三日はむし暑。

・・あつさは益々きびしく、い

宅 秋田縣の水害 P す子

三十数名、其の損害額百萬圓突破 【秋田十二日發】秋田縣地方は十

滿鐡の字佐美ハ

木綿だまん

七曜ネクタ

時間にしてノ際は電池に充電のため体艦したさころ場抵抗部が燃け上手ラス號は出發後エンヂン部に故障を起したが修理を完了してーチラス號は出發後エンヂン部に故障を起したが修理を完了し時十日午後五時中トロムセーを發し、スピッツペルゲンに向った時十日午後五時中トロムセーを發し、スピッツペルゲンに向った時十日午後五時中トロムセーを發し、スピッツペルゲンに向った時十日十分

號愈々壯途へ

紙類形一酸に連載中の中西

の反抗がやぶれたからで

來る上

・六日本紙朝刊から連載

『第二の反

機關部の修理も完成

スクエル・ペーに九時入港した、十二日早朝には完全に融起り終夜。理するも完了せぬので意を決し、右紋のみあるのを養見、直にこれを取扱へた、然るに左紋のエン

ール氏さの間に、なるならののつ時のこさ鳥蝦駐哈代表代理とその学佐美さんがハルピンを發 一ル氏さの間に、なるなられの

色

組賣

屋柳 越三

送 〇丸 一 商 會

史女子才や宅三

た、又曲利郡も各河北把艦の貸め た、又曲利郡も各河北把艦の貸め約 た、又曲利郡も各河北把艦の貸め約 大工百戸港水、田城六十町歩全滅と さいな

さんが響ること、配して聴起はール氏が響り、なられば学佐美ール氏が響り、なられば学佐美ール氏が響り、なられば学佐美 てしまつたさ見え、友達をつか

昨秋九月際校も市内敷勘町寄年會

せ」(宮城は宇佐美さん)

南滿商科學院

九月から開く

には南谷貨物。 定の浦脚まで をの浦脚まで 七 YFZ0

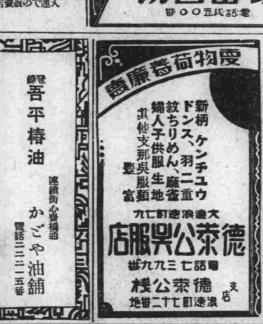
第四回

甲種 金 壹 百 圓 也 お伺ひします お同ひします F 回滿了 藤凶タンス数造販 専店 旅順乃亦町藤図支店 購買會募

更任付

集

御轉宅トラック大中小何けにても側間に合はせます方には無料御届けします方には無料御届けします <u>ه</u>



・東西鳥人の交靡 外史將軍もジ嬢とダンス ストラス氏等の「時の人」を記覧に 大山谷九三番地のボイス氏宅に然 大山谷九三番地のボイス氏宅に然 大山谷九三番地のボイス氏宅に然 大山谷九三番地のボイス氏宅に然 大山谷九三番地のボイス氏宅に然 大山谷九三番地のボイス氏宅に然 大山谷九三番地のボイス氏宅に然 大山谷九三番地のボイス氏宅に然 して東京に概像したのか機ごして 大要が主催さなつてエミー・ジョ ンソン駅、同乗機関士ハンフレー 氏、メングボーン・ハーンドン階 氏、メングボーン・ハーンドン階

がた地すべしるとでは、 をでは、 をでは、 をでは、 をできまめらば全國の右に受國と をできまめらば全國の右に受國と をできまるらば全國の右に受國と をできまる。 羽田飛行場

東京飛行場は配くに残って 東京飛行場は配くに残って 東京飛行場は配くに残って を輸育社の繁製所や東京飛行場を借用した。 を部を駆し同日腰七時代場を借用した。 下り一號他から猪田飛行場を借用した。 下り一號他から猪田飛行場を借用した。 下り一號他から猪田飛行場を借用した。 下り一號他から猪田飛行場を借用した。 下り一號他から猪田飛行場を借用した。 下り一號他から猪田飛行場を借用した。 下り一號他から猪田飛行場を借用した。 下り一號他から猪田飛行場を問用した。 下り一號他から猪田飛行場を問用した。 下り一號他から猪田飛行場を問用した。 下り一部である。 下り一である。 下り一でなる。 下りでなる。 下り一でなる。 下りでなる。 下りでなる。 下りでなる。 下りでなる。 下りでしる。 下りでしる。 下りでしる。 下りでなる。 下りでも。 下り

明銀小切手事件

てきたが知り騰いて数日前孫のスミナを連れたま、深一族を察出し遠にあたる市内桔梗町に居住する 版にあたる市内桔梗町に居住する 原本学のである。 無財一〇四番地裏新睐社繁 名等総職丸千二百養擦幣の男を連出権へ(当)=假名=は社 権せる 旨入覧あった、 職地は支那田山橋一(当)=假名=は社 権せる 旨入覧あった、 職地は支那田山橋一(当)を建城に置り飛ばさ 「一名」に、 大連へ送頭の響は、 大便にて大連へ送頭の響は、 大便にて大連へ送頭の響は、 大便にて大連へ送頭の響いた。
「というを建城であった、
・ 「大便にて大連へ送頭の響」は、
・ 「大便にて大連へ送頭の響」は、
・ 「大便にて大連へ送頭の響」は、
・ 「大道」によって
・ 「大

邦人診療開始 齊院は海鐵管院 滿鐵管院

の数にと戦論がを見せたがそれため現在では着のみ着のみを からの程ユキは沙のがに出戦を戦を

沖繩縣下の大

あるが近く博士號を授與されの診療にも従事することになる語の診療にも従事することになる語との診療にも従事することになる語との診療にも従事することになる語を収集している。

小林式デイゼル東油機關十馬力 五馬力以上百馬力迄

若狭町四四

進洋行

御家族連れも恥かしくない

ライオン

電大四三四番

√6

新案第一三六一一〇號

拳銃 青島で捕はる 密輸共犯 暴風雨の被害

七百戸、宍濱一千五百戸、死像者の熊濱一千な栗瀬眺貴四十五名行方不明さなった。

朝顏品評會

人絹ぎらひ

電話四月四一三一番三四一七番 な店 小林 製作所 本店 小林 製作所

唯等发刷回了四町速浪市運大 院醫富守

現が困難さなるべく触られてゐる問題の重大論點さなり或は其の質 問題の敢大論職さなり或は其の質 門司 救助船急行 から 強に就いた同九時常脱丸が門司出

競馬新規則

十四日公布

使込みの穴埋に

姓を賣り飛ばす

本人危ふく難を発る

東(四一)ほか十名は像一二十四番パースに於いこ十四番パースに於い

夏家河子 東込所 大連 市大山 東込所 大連 市大山 大連市大山通 濱有 陸舶用デイゼル機闘

製造販賣

日支英テ・

御料理でサービス

ビスは断然大連一

数 送 理 の 御宴會は 関婚婦 疑人會 御宴會は

夏料理は

(1)

ホ

ル

夏料理の提供

夏の味覺は

ライオン

より

文化住宅賦賣出

御用酒 宮内省

聲譽秀天涯

莉 發寶元 鐵 谷 正宗 谷 電話七〇四二番 商 店

ACCES.

さ云ってよいほごの織だった、と云ってよいほごのがい、なの野い動物に声歌に貼れた都木に繋する勝が、微然に成立したのであるかをかんが、微然に成立したのである。彼が、微然に成立したのである。彼はでも目とそきのはりと願っても

あなたと無電の行をして子つたのな。程、もう五六日もこの既で、「たえ子さん、返事をして下さい

仕事がたまつて弱つちゃつたの

で射質いてゐたが、 で射質いてゐたが、 さう「殴く叫んで燃える熱りによった」 さう「殴く叫んで燃える熱りによった」 はづみあがる心づかびが後までた」 た子の卑威に残つた。

いやならいやでかまはない

たえ子は苦げに憎を振った。

たのそして、難くたえ子を縫い脚三に顔の競肉を引つらせて立ち上つ 体にの競肉を引つらせて立ち上つ 本

いいわよし

京

「では、承知して下さるの」

るるから、緑の帯になって私が仲かったが見があれほど思いつめて

もつててれば、難る品り合はないたえ子はまた無電の鑑点を繰返したったけだった。世間普通の考慮を

しなかつたっ 愛する春木の場に何っての怒りにそれほごおびやかされはへ

る御心はほんさに織しいんですけ このやうな殿しいものか思つて下さ などんでそつき確認をついた。「私

思ふのよ。兄は行く行くは此の家といの」さ、あけみはうつむいたたと子を見下して、嘘るやうに気つてそれほど ごいものではないさいの」さ、あけみはうつむいたたいの」さ、あけみはうつむいたたいの」さ、あけみはう

さいた。あけみは顔狂ひのやうなと、光頭を木とされた。あけみは顔狂ひのやうな

無記のまま、あけみではひ合つて時か知らせた。が、たえ子はまだ

の鳴き繋が似せた勢り

さんの御心は十分嬉しく聴つてゐ 淺枝次朗畵

「繋へるこさ、て、軽木さんのこ で、たえ子は飛ど夢中できう

よ

されされ石輪同質の優良品にして使用至って軽便効果値がて絶大な一続くべからざる必需品なり毛糸、毛織物、絹物の洗濯に

位本側樣客御對絕

For All Fine

Laundering

MANCHURIASOAPMFG.C.P.III

店毛化る各

明品先渡し致します 一回掛金御拂込と同時に

米國デューリヤム社製

發

ウヰークダンスレコード

賦提供

高級瑞一

西ジ

117

:

蓄音器

然例石鹼株式食

於各博寶會品評會名誉貨牌受領

77

司し飲むす

->>>11 11666- ->>>>

榮榮榮

發

大連市浪波 竇

大連辻利ビル内電話配託が代番

會株

社 式

11

元氣で励

油は石めり

かき 大き

大天.

屋堂料代引

理料西蘭佛

杳

一四六三番

H

0

to

拜

をの

む

それで

日

連

專實店大連市際

様のげし澤米

梶 H 小兒科

越後町若狹町角電六七五〇 者患用服評好大 大製和

111116 紙の各紙 大川間 行

要目一代雄、

四五洋

製場 互社弊 S 鐵管 鑄鎮、鑄鐵並真綠鑄物、酸素瓦斯

製産 進和**高** 大連市佐渡町三〇 大連市佐渡町三〇 世

智社 大連機械製作所 電話(就應獎題題 九三五 電話(就應獎題題 九三五 電話(就應獎題題 九三五 電話(就應獎題題 九三五 電話(就應獎題題 九三五 人院隨意 連肛門 院長 内田鎮一 病 院

NO. 60 ¥ 60-00 週 非 御 種 試 目 聽 * ¥ 50SEN 曲 發 行

地 込 申 各

中甲山中;豐榮山高能 1治 時時堂時堂樂 や樂洋 計計本計支器洋商器 計商

タイヤが他にあるだらうか 別×6 ヘビー程安全な 用ひてダンロツプ新型 無比 THE REAL PROPERTY OF THE PARTY 國● 王●定之 樣® 33 洋 行 電話 5 1 6 8 番

·荆·綠便に 良 食傷 慢性

思

して賞用せらる。 サフス 等悪性 膓疾患に かほ、赤痢・コレラ・腹

知名薬店に販賣す . 9

31-740(0)

整膓·消化·保健

店商衞兵長田武恭 元賣發 町修道區東市區大 所驗實生衞戶神 社會 町番二市戶神 元造製 こた電信しなければなるまいが一つなことはこれから度々起るこうなことはこれから度々起ることを開新版追ながへることを

【上海特體十一月間】反日育は水一和洋行麻袋七千五百

校、價格三千

大十年本日はその隣通記念日に根 がに完全な職題の通信連続が成り がに完全な職題の通信連続が成り で、大十年本日はその隣通記念日に根

被害者の報告に依り

支那工場監督制度

攻善援助の

・ 人職察主任アテレードアンダーソン夫人ともいこか以下 一家衛事物展に支那政府の要求に基き国際会職事

國際勞働局から視察員を

高級の方は

きれる、他に銀道等だけではない

めての上京である、行政繁弾、來」に雅養、直に飯脇水上署長に導か」な述べその他知名士夫人連の見送、 のはるびん鬼でエキ子夫人、命の上京で各方館から法目されてる が東上に決定、十二日午前十時出 の上京で各方館から法目されてる が東上に決定、十二日午前十時出 の上京で各方館から法目されてる が東上に決定、十二日午前十時出 の上京で各方館から法目されてる が最より山西、竹中瞬理事にか管 でかばであつた塚本間東長官は窓 電大なる満蒙政策の確立等施政上 は三瀧内務局 は、中谷警務局長、 中央さの種々指令セ事項を提げて 空間であった塚本間東長官は窓 電大なる満蒙政策の確立等施政上 は三瀧内務局 は、中谷警務局長、 神典さの種々指令セ事項を提げて 空間のはるびん鬼でエキ子夫人。 る、長官一径は午前八時十五分自 満盤より山西、竹中瞬理事にか管 がりまました。 といるが、東地・大連市長 でかばい來や影鈴、東地・殿・野・大連・大人連の見送り

塚本長官け

さ上京

往復四十日の豫定で

に関して除歴中にも反野変見版出 に関して除歴中にも反野変見版出 と行情みの販態にある揺も指十一 と行情みの販態にある揺る揺十一

相の裁斷に俟つ事さなるだらう 相の裁斷に俟つ事さなるだらう 相の裁斷に俟つ事さなが萬一致治的に 間検にお話するが萬一致治的に

もこの際全権障員は速かに総衝決機の結果背離全権の決定はなくる

なほ常日出殿者は郷談院に意見交は川崎書記官はが主催する事

日

場合の間点については行政、 - 恩給法の改正は十三日の閣議で て左の妲く諮つた

更に蔵様は同日午後七時自邸に於

東か出す事さなり左の如く決定 は外務陸海軍三省から二名宛の幹 一

部での定例 を見において次の如く はいて次の如く

多くなかく

沿線から 北南線祭にいても古がらうが、あの整理のでなくまだの特別についってもさられば、此時待命になった人をでき着誰に行く人が有り得なない、此時待命になった人をできるだけ方っが、あの整理のでなくまだ。

重大用務を帶び

加俸は平均三分の

ない。 では、では、 では、 では、 では、 では、 でんだ、 ならのは新作者と異給者 に限る事さなつた、 なほ原植根よ

り省融合問題につき 禁上蔵

育廢合問題對策

り各二名宛の幹事を出す ・ 対事は問題の緩急を闘り準備 ・ 対事は問題の緩急を闘り準備

滿鐵當面

紛糾せば首相の裁斷に俟つ

藏相意見を漏らす

日二十月八 群、水的人行程 治代音水協、人制器 部大庄下山 人制即 地名—州河國公屯市地大 就展山跨湖社會大路 新行管

平均三分の 他は一 帰俸減額は として來月實施 に限る

軍縮會議準備會

今後毎週二回開く

く事、三ヶ年後には一律に新率 三ケ年 現在の儘 据る置 三ケ年 現在の儘 据る置

東京十二十登》十一日開かれた。 東綱倉議に繋ずる政府の延備會に おいては左の諸項を決定した 一、護備會は毎週火、木曜日午後 一、準備會は毎週火、木曜日午後 一、準備會は毎週火、木曜日午後 △外務 條約局第三課長佐藤庄四 「本海軍」海軍者出仕海軍中佐小林 「本海軍」海軍者出仕海軍中佐小林 「本海軍」海軍者出世海軍中佐小林 「本海軍」海軍者出世海軍中佐小林

閻氏懸命の努力

軍事行動開始近し

今次の農林、商工兩省の合併の 如きは若しこれを断行せば却つ て行政上能率が上るのが至當で あつて産業振興を阻害するこは

り實施すー減とし九月一日よ

施に當つては三ケ年

永久に日本の貨物を買けなって言言とで

今後產業行政に

全力を注ぐ

満鐵地方部の新方針

運賃改正 歐洲行の

奉天事務所は對外交渉に便利 傍系會社は切り離してもよ

江口滿鐵副總裁談

賑務公債發行

國務會議を通過

東東にて悲観な要しない、私は 「今欧正養表した でか方法が附くものさ思ふ、繊 道政策にしたさころが先づ自身 監の東支密師各地職級 が出來るやうにその時々に何 の東螺急行料金だけ控い でか方法が附くものさ思ふ、繊 ここ、なり漸載において が出来るとうにその時々に何 の東螺急行料金だけ控い では、ここ、なり満載において を表した。

野鹿すること、なり、満縄の地方の好きに最も懸かこされなり、満年のか、前中後来産業行政を帰ごるるが、前中後来産業行政を帰ごるるが、前中後来産業行政を帰ごるるが、前年のが、前年のから、

南京の朝鮮事件 十三、四日中に發送

が、これに野の

阿部で養行無法ない議中 九鬼男に御沙汰

『東京十一日發』長き邊では九鬼 隆一駅爺ぶの線を呼ら沿され十二 日左の知く御沙汰があつた 正二位動

芳爵 九鬼 [5]

蛇角

は、聖人處別、謝実、野來の保障 「監する風管を論脱し師く恣福密監 「大工日の中央政務會議に報告消過 の上十三、四日頃日本順に向け養 の上十三、四日頃日本順に向け養 の上十三、四日頃日本順に向け養 の上十三、四日頃日本順に向け養 が見含な駅を新変協覧 に外交部では王部長、四日頃日本順に向け養 が見含な駅を新変協覧 に外交部では王部長、四日頃日本順に向け養 が見含な駅を新変協覧 に外交部では王部長、四日頃日本政府に送達さ

一般では、 一をは、 一を、

上海で日間を差機へた、日本陸 した、やはり酸流流域よりは此の がきとめがある。

十一日午前九時外交都に王正廷氏・弘氏九代理法離に伝命とた「日午前九時外交都に王正廷氏・弘氏九代理法離に伝命と於が、「日午前九時外交都に王正廷氏・弘氏九代理法離に伝命とた」「「「「「「「「「「「「「」」」

山西代理主席任命

押へられた日貨

我陸戰隊取戻す

事業であった潔威電線を完成し同 事業であった潔威電線を完成し同 事業であった潔威電線を完成し同 であった潔威電線を完成し同 であった潔威電線を完成し同 であった潔威電線を完成し同 世の毎にはか、5ない。 世の毎にはか、5ない。 流行艦高家戦務外突乳環か今度 流行艦高家戦務外突乳環か今度 で成の一巻は是非一会

開通記念日

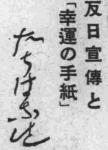
者の方は誰れがやるか むからな 紫葉三大鼠の間壁が重大化する と は「そんなこさからさ、愛してあげる 宗殿なんかさ、交際したの、今度 いますよ。だが僕も本物の貴族の 「どう思って?妾って女?」がはじめです」

で、戦日駆いしてあるのであった。 さんとことを続けってる。 大郎は逆して置びたいんですがれ」 で、戦日駆の木陰で、戦日をしてしませられ」 で、戦日駆の木陰で、戦日をしらた。 こくとごふやうに含いたとた。 首へ権き、さうしていると、大郎は決してるるのであった。 あるこことを続けってる て、このブルジョアの対戦さんて (まるでこの令戦、 娼婦のやう

それにしても、彼は題な細がし することを味じつてゐるやうな様 を反称させた。で次郎はおう思って は重かもしなかつた。それが次郎 首へ権き、さうして男 で、或日庭の木陰で、ゲツさ さ、彼女は風 上手に次即

からであった。おそろしく他つぼれてっていふやうなこさな、果物のはでもするやうに、ズバくとさな、果物のはない。 際したが、彼が行くさ声子は飛び を敷へ行って、値や洋子など、交 が観光で銀月のやうに、松上値の がは飛ざ銀月のやうに、松上値の があってい來、大 のであった。 「男で遊ぶつて面白いものれ」





連案」なる襲撃を奏見した。そ 「同胞達よ、対き意味の報道がある。四く、 たしないこと 対き意味の報道がある。四く、 たしないこと 対象の天津茂学紙解報に次の 三、永久に日本 対象の天津茂学紙解報に次の はいこと たしないこと の海の能な主張する世 は安那人が周果原報さ

反中央派結束に

來るさいふのである。

以れて特に横手がを膨慢する必要 の機に連鎖を篩つここの割削を ・ の機に連鎖を篩つここの割削を て極めて自然比監然の事象であ

五百째のものを差機へたが、同洋 てはならないさて午後一時一個水石では沿事性を總領事館に報告す 除、終二十名)を派遣し差押貨物をささしに磨戦隊にし報告したの 全部を財政した

他の如き※他の常様に使用され であるが、それが他の多くの事で共に道数を取入れられ、前 であるが、それが他の多くの事

の子孫が災厄を疑れることが出 一族、一萬部を配布すれば九代 一族、一萬部を配布すれば九代

に施報の多寡が裏ら家

うらる丸 十三日午前九時

▲塚本清治氏(鵬東長官) エキ子 夫人令螺ミサチさん同伴十二日 午前十時出帆のはるびん丸にて

史

順三

日天瀬城で來連の肇定 土肥原氏來連期

▲小敷賀政市氏(同元事務長) 任挨拶のため同上 ▲河内由蔵氏(大連磐院事務局 &) 同上 ●西田猪之輔氏(滿鐵考査具長)

十五日東京出奏郷里新海へ帰省の一年五日東京出奏郷里新海へ帰省の

田代少將近了



札幌商業と對戰

十六日の抽籤一勝者戦で

中等學校野球組合せ

日

時左の城へ決定時左の城へ

リ機濃霧のため グ灣に不時着水 ムに向ふ途中で

霽れるまで

檢事局取調~

九時東京地方鉄地所極事局の召喚 事態を意大磯ら懺電玻璃を行ってち玻璃を受けたが檢事局では概念に應じて出頭市島、長尾兩極事か

吾子の居所判る

大喜びの大連の實母

を出蒙し して小田原器に飛び込んだこさよ

一度御試食を…… (御-人前山盛+五錢)

トキワ橋の果物店

滿鐵水泳部遠泳 十六日に五哩ミ十哩 廣告板を

である

三三二二二最十二五五四二五高日

芳香園の

必ず踏破すると意氣込んで

けさ三學生大連出發

市御美をいってをりま入れの不得属きからなってをりま入れの不得属きからなってをりま入れの不得属きから 近公教 **企理** 査を急じ

を対して公共職権の手に移し、充 を関して公共職権の手に移し、充 を関して公共職権の手に移し、充 を関して公共職権の手に移し、充 を関して公共職権の手に移し、充 を は、この権會に個人經常を 長春に强盗

安い培茶芳

サーボボンドド

御注文は

▲配達迅速▼

電話22233番へ

電熱焙茶を石し上れ

干潮、午前十時五分 午後十時十五分 けふの小洋相場。正午) 金百圓以二六二圓八〇錢

はり親族に智った様にやってゐる通りにするし長崎者に長崎者でや か面白いのは今年来てある潜水大 居るが還入る時パッノくさ難水をには房州のものさ、大串のものが

俄然ネオンサインア **市市** 草橫

處女地に於て此の巨利を得んとする責任 高の取付は勿論関係及対対は至急だ記へ御照會あれ 喜んで詳細を御通知申上ます とでは、一世現

るれ賣 職当時四十分死去致候間此段辱知制五時四十分死去致候間此段辱知 四時西本願寺に於て相替み申候



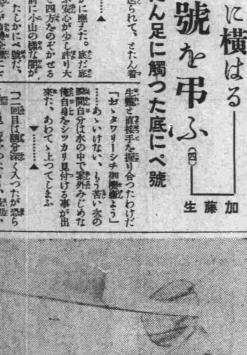
たん足に觸つた底にべき 號を弔し 生藤加

たよく味はつた うなことがあるだちうれ」 おたし際はガターできに片吹さん、微水夫に修か うなことがあるだらうれ

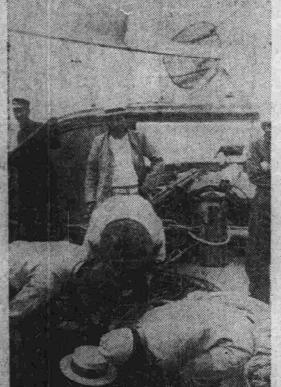
大連ヤマ

ク氏宛

一治知る



九尋の海底に横はる シス・ベ



日正午ごろ長春市内入船町五

りやどうなんです」 ット式さの二浦りあるが、一<u>艦</u>あった歌とへルメ

野井 場 兵謙

でメヽキたれ放飛 しべるらせ用服でに平断

阪大 堂日春田隈 舖本

支那貧民救助の 自事化佛教總會々長 一日午前八時入港の 一日午前八時入港の 数助工場を設て華人賞にまれば今回大連に 止めてゐるが佛し 校工場を計畫 普化佛教總會長來 度はこれを収容して軟隆を加へて居 を選す五呎の凝脱に戦所を窓じに を選す五呎の凝脱に戦所を窓じに を選す五呎の凝脱に戦所を窓じに を選す五呎の凝脱に戦所を窓じに がし多くば脱通りの日本機領事館 かった。 ないである、 ではは時な にこれを収容して対策を加へて居 を選する。 では、 にいる者 ないでは、 にいる者 ないでは、 にいる者 ないでは、 にいる者 ないでは、 にいる者 ないでは、 にいる者 ないでは、 にいる者 ないる。 にいる者 ないる。 にいる。 にい。 にいる。 にい。 にいる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にし ついた 脅迫中に 守備兵

3

BABY:9 25-PAT

兩兩軍ご對戰

來る十八日朝鮮經由で來連

ア來戦愈よ高潮

武合日程變子 十四日 帝大對實業第一十四日 帝大對實業第一十五日 帝大對演集第二十九日 帝大對演集第二十九日 帝大對演集第二十九日 帝大對演集第二十七日 全臺北對實業第

足拔き藝妓から 世であるので飲に善化 十二日午前九時性頭大花樹太平山 を地に於いて多数の 間二三二十中附近において日支人 が今回大連にも在連 遊し飯中時郎二番、金つけて管 が今回大連にも在連 遊し飯中時郎二番、金つけて管 が今回大連にも在連 遊し飯中時郎二番、金つけて管 が今回大連にも在連 遊し飯中時郎二番、金つけて管 をなさんさするもの 第三十三列車が進行して來たゝめ 最に上陸後一先つ西 嬢様を中止して変走した 『大石橋 電話』 であるので既に曹化 地に於いて多数の 連署に自廢願 馬賊逃亡

かとひ再び雲脈 政政黨武谷代議士 大檢北村席の宇女鶴 全党中であったが、最近町内會又 は自磐駅で管轄高級の警局板を響 は自磐駅で管轄高級の警局板を響

二支那宿德順**棧**止宿中の松井義 ・ 市内永樂街

二日朝小園子署へ捜査願を出っ方不明さなつたので、夫義一関を引出してそれを持つたま

天氣線風

富古繁作

第店は昭和四年六月十日より從来の不安なる掛惟資の養智性を膨を御客補に安心してお買求めの出来得る標絶對確實に利付にて然も極安價で側額して居りす。 取賣品に付ては完全なる責任を持ち萬一卿氣に召さの節或は他店より高價の場合は何時にても御取替叉は返金数しまず。 市内の商店に正札付大割引き廣告しながら大場値 店さ御混同なき標御額致します。 店さ御混同なき標御額致します。

福福豐東~

J

御買求ならば 業

北小山内 いる 目と は、大地線を現て聴立される密 は、大地線を現て聴立される密 を は しょう かあつた、本學院 商業院進出希望の子系に検案年度 を記述すの指令があった、本學院 を記述すの指令があった、本學院 を記述する。 をこ述する。 をこ述述述する。 を言述する。 を言述述述する。 を言述する。 を言述述述す。 を言述。 六ケ月を求刑 設立認可さる

キュービー

中で 明日の建閉に帯へら

明日の健闘に備へる

0

Š

自

の : :

作軍艦ワルアックルーソー號は來る十五日大連埠頭入港二十一日ま 佛國軍艦入港

マヨネーズ

金器銀器の御註文は

でた、就而は是非日本人の御客様に支那人特有、支部人間には相當信用を有して居りますが今、支部人間には相當信用を有して居りますが今日、世典金店へ!!

前後八回のレコード保持者

海にも 山にも 御家庭の御食贈にも

黎井試錐工事應需

電話六五四四番

, 是非定評のある

##は大連で一番古い者の別の表明で放映のおいます。とはいても結構で御座います。是非一度御越した御待ち申して居ります。 会銀器、貴金屬、装身具、ヒスイ、實石類特に銀器中優賞杯、楯、茶道具類は何れも弊店自慢の製品です。 大連市浪速町浪華洋行前通支那風呂向大連市浪車のでで、とまれて、野石類の表明をはいる。

强壯劑

急速

ABY.9 WAS. PATHE-BAB フイルムが不燃性で断然安全である事費 用 が 僅 少 で 樂 しめる事 m

特三徵大

バテーベビー 最優秀、最低廉の九ミリ宇 は関連の九ミリ宇 モートカメラF(3.45 八十五側 サーカメラF(3.45 八十五側

說明書進呈二

面白く映寫出來ます

6・78

の活動寫眞機

BY.9005 PATHE-BABY.9005.PATH 大流行大好評 御家庭で

ら ず

僕口の増水

四条組の強整後人と名目が入り、一次人を制建会人を翻したといい。一次人を制建会人を翻した上、翻天一次人を制建会人を翻したといい。

春響では犯入殿探中【長春電話】

南滿商業學院

り半パテー

ーベビー

はこうだん



十三日封切 名番組

人連市イ 電話六三九二番

月 一日間

調切十日り十六日だ

豫想より増加か

三分の増加を見てゐるさ若し今年 - 殿高は八月一日の收穫繁想よりも | 日本の大学を表現を通じ来総質 | 数本の年間を通じ来総質 | 数本の本のでは、一日の大学を表現した。

東高はそれだけ梁村高より増加を 東高はそれだけ梁村高より増加を

旅順管内作況

市民のお臺所

大連中央卸賣市場

過去と將來

ンの開氏は八月甲にマルリンを一の二大無點に関する意具の変換の

米棉實收高

目

佛首相外相

獨逸訪問

獨國立銀行

銀行は公定割別率を五分下げの一

二十日に創立總會

引下げ

いよ

一組織

銀行は今回の利下げ養表後左のコ 國立銀行利下ご共に コンミユニケ發表

事物文長アヴノール氏は同野政部 トンに随ふこさしなったが、これ しつに随ふこさしなったが、これ をラヴデー氏さ同校とて本日ウイ してがいてオーストリヤが職際に拠

果物出荷組合

は 三日間舎の理事舎にその報告を提 教職盟は事會はオーストリヤの財 教濟策を講ざられたい 教育策を講ざられたい

りであるさ答へた模様であ

科學的に見た

大豆粕の飼料化

田東州東部組合の出帯協議會は十一結果、東樹組合員の中、共同出帯 「田午後一時中から大連民や警會 一部業者のみなりて新らしく出帯組 「田午後一時中から大連民や警會 一部業者のみなりて新らしく出帯組 「他、本年度の出帯取扱店選派は」 その観覚機會を來る二十日午前九 他、本年度の出帯取扱店選派は」 その観覚機會を來る二十日午前九 にないて、新らし、組合員多販の意見に 時半から常盤小學校講堂において にないて、新らし、出帯組 「日本後一時中から大連民や警會 「中本のの出帯なりに、新らし、一時中から常盤小學校講堂において にないて、新らし、 り財政能援助を貸す響である。 もので基施職立までは果樹組合よ もので基施職立までは果樹組合よ 荷上不完全であった荷 七月中の 特產市況

現合鹽類三、 一〇〇 元合鹽類三、 一〇〇

は民職を信ひ、又部第からまして何 が監に就ては、干薬と愛知で詳細と な監に就ては、干薬と愛知で詳細と ない、文部第からまして何 に対してい、文部第からまして何 に対してい、文部第からまして何 に対してい、文部第からまして何 に対している。 にがしている。 にがしている。 にがしている。 にがしている。 にがしている。 にがしている。 にがしな、 にがしている。 にがしないる。 にがしない。 にがしないる。 にがしない。 にがしない。 にがしないない。 にがしない。 にがしない。 にがないない。 にがない。 にがないる。 にがしない。 にがないる。 にがない。 にが

今その飼料配合の一例を申

(粒餌)黄色玉蜀黍三〇、高粱二〇、高粱二三、豆粕一四、鹽類三、豆粕一四、鹽類三、豆粕一四、鹽類三、

盛になって、卵の輸出を計載し、 一般になって、卵の輸出を計載し、 近頃銀

銀行休業

羅國ベル

数日中には再開了

ツ銀行は本日体業

が論廣大な原野があるが、飼育法 を際になった。原始時代に於ては を際になった。原始時代に於ては の動物を飼育し得

銀 元枚 天枚

黄

割さし、郷原機の高は毎年度にお東にがあるので八分、その他は一

本を盛った殿会を出すここになって ある、そこで微楽の郷質人にして ものがあればそれらは勿論それか ち市中観在の儒製者も盛々に聴行 を察むここは差し安ないが集職 場外取引禁止 市場のほか産業単純を助援ふ中央 がでないさいふー地域一市場等では 大連市及びその附近において市気が を削減のものを設くること を作ないさいふー地域一市場当該 常に降雨があり り臓はなくなつ り臓に八月に人

られてゐる。

453.9 172,837.6 48.671.1 1,161,9 5.208.8 1.168.1 1,299,4 3.707.4 18,688.5 1,005.0 1.397.4 14,5 32.4 176.5 188.5 223,3 826.6 331.5 15.2 125.9 155.7 223.3 23.0 57.1 562.3 2.014.3 1.482.6 768.8 261.1 17.837.0 5.816.4 798,2 1.080.3 67.8 64.0 2.357.1

內地株强調 綿糸小戻し

1,379.3 1.942.7 2.423.8 78.7 1.658.1 14:91 243.4 586.9

の病は婦人の手で

博多屋本店質部 電四四五三番 ... C

江庄場馬 ルトクド 八七五八話電·話播盤常連大

● 開島縣鄉命令定期大連湘戶內線 ● 門面司 養 八月十九日 門面司 養 八月二日前七時 門面司 養 八月二日前七時 中一百 養 八月二日前七時 中一百 養 八月二日前七時 中一百 養 八月二日前七時 中二 日 一九日二日前七時 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇

● 芝罘厳海 (第十六 八月十七月 東新 17 (第十一 八月十七月 東新 17 (第十一 八月十七月 東新 17 (11) 東京 18 (12) 東京 18 (13) 東京 18 (14) 東京 18 (15) 東京 18 (16)

三 | | | | | | | | | | | | | |

相

, 止安高寄

七七八三兩〇

海標金

〇四六 九二九段

(四)

猶豫案議定書:

止式調印を終る

▲包米高深 生育概して良好にて ●包米高深 生育概して良好にて

亦澗澤にて發育頗る良好なり水稻 病害虫の養生もなく用水

『五萬圓を増加

双方互讓の意思』

補償金問題で卸賣組合長

田中市長を訪ふ

七ヶ國代表、英外務省で

議定書の採擇を完了しイギリス外務省で正式調印された、湿臓後五十二日目 機定書の採擇を完了しイギリス外務省で正式調印された、湿臓後五十二日目 他無目取り極めに關し日、英、米、佛、伊、白 獨 専門委員會は十一日午後五時 他無目取り極めに関して、英、米、佛、伊、白 獨 専門委員會は十一日午後五時

獨對短期クレデットの

列國中央銀行代表會議を招集

おる はいからで はいましばいらるとに 至ったからで

救濟要求容認與國經濟難局

高一、〇三三千枚にもて前年に の不透明さ現物不振に関散保合 が、季節的需要不振により一般 が、季節的需要不振により一般 が、季節的需要不振により一般 が、季節的需要不振により一般 が、季節的需要不振により一般 時間地域とでは、 一般がないばかりでなく、 一般がないばかりでなく。 一般がないばかりでなく。 一般がないばかりでなく。 一般がないばかりでなく。 一般がないばかりでなく。 一般がないばかりでなく。 一般がないばかりでなく。 一般が一般でなるため、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般でなると、 一般でなる。 一般でな。 一般でなる。 一般でなる。 一般でなる。 一般でなる。 一般でなる。 一般でなる。 一般でな。 一般 貨物と倉敷料

神戸期米 前場所 前場所 前場所 前場所 前場所 前場所 前場所 前場所

て該規定を各方面に送附し右の 動物の飼育に必要

あ指

地域が特別であった。新豆共同事であった。新豆共同事であった。新豆共同事であった。新豆共同事であった。東京短期の東新は一般三四十錢高を引き、新豆共同事であった。東京短期の東新は一般三四十錢高を沿ったが地場株は氣配触らず五十銭高、新豆共同事であった。

五分利國債

遠 期 三五 四金 四面 四型 温 期 三五 四金 四面 四型 温 期 三五 四金 四面 四型 金 四面 四型 金 型 物 取 引 (単位経) 銀 か な 人 可 は の 大 水 書 で 行 油 、 高 製 さ で は 向 相 常 に 買 戻 し あ り や 期 か す ら で 全 国 油 は 昨 場 高 で 反 市 な 一 の 大 水 書 で 行 油 、 高 製 さ で は 向 相 常 に 買 娘 か な る な 一 の 大 水 書 で 行 油 、 高 製 さ で は の 世 か な で は の 世 か な で は の 世 か な に 理 物 か あ る よ な 一 常 で な か な に 理 物 か あ る よ こ 一 常 で な か な に 理 物 か あ る よ こ 一 常 で は い ま

三量司 三分

17 월 월 11 | 11 | 경기 | 1

市

況

正 金、銀脚定)
日本向桑着镇《銀百图》空侧。
同十五日镇《同三志0片人分倫敦向電信镇《同三志0片人分。同六十日拂冀《同三志0片人分。同六十日拂冀《同三志0片人分。同六十日拂冀《同三志0片人分。同六十日拂冀《同三志0片人分。同六十日拂冀《同三志0片人分。同六十日拂冀《同三志0片人分。同六十日拂冀《同三志0片人分。同二方月寅(司)至,明三方。同一五日拂冀《同)至,则四三日本向電信镇《同)至则四三日本向電信镇《同)至,则三百十五日拂冀《同)至,则三百十五日拂冀《同)至,则三百十五日拂冀《同)至,则三百十五日拂冀《同)至,则三百十五日,

航空より観たる

東洋の現勢

陸軍中將 古 屋

軍用機注文 南京政府英に

『ロンドン十一日發』本日監地で ハヴイランド航空會社の發表によ れば同社は南京政府より戦事練智 ルは同社は南京政府より戦事練智 を表示。通信用アス

山西省主席代理

成繼氏等廣東と

に 民である 『 年天電話』 されたので歌分融歌には北季で体 てある とこと 及び各点車の荷力者は元老系を保護 佐り徐永弘氏は十一日山西衛站離 飛行機の襲撃な強って萬一に備へ 抗絶 変氏主義酸手を要請すべく寄々内 代準に就低し融速には十一日山西衛站離 飛行機の襲撃を恐れ盛般大侠容神 滅艦 安氏主義酸手を要請すべく寄々内 代準に就低し融速には十一日山西衛站離 飛行機の襲撃を避って萬一に備へ 抗絶 滅艦 安上さらる 『 年天電話』 されたので歌分融歌には北季で体 てある つ、 では まっこうる 『 年天電話』 されたので歌分融歌には北季で体 てある ここと

できるあった、程にむき接触は部 なに脱て特上機能と含見協議する なに脱て特上機能と含見協議する なに脱て特上機能は十一日官 が一般が、原接機は十一日官

嚴重再抗議 一日張上海市長に

再び妥協を策す

蔣氏の下野を條件に

青島は平穏

時もあらう、併と却々決定までない、十月ならば年度中ばで意ない、十月ならば年度中ばで意なが、博へられる知く九月一日質施等は根據が を知く九月一日質施等は根據が

一日登」心臓を及は十一一日登」心臓を及ば十一

法政下版画に就き版

兩省協議

減俸騷動史

勝側に回答する事は困難 を事を早合せたので十二 とはなる。

十二日海軍側で協議

光に立って白し

鐵道省にて編纂

大臣にも見せず門外不出

省令公布 選舉法改正

『果京十二日数』内称後は選撃は 第九十六條に依る立族補属出で前 の機蔵施践會の告処用ポスターを でを立て後を十二日の官報で公 が

十一日午後二時入港の黎天鬼で背島總領事ル越茂氏が吹連これが搬出こて稼ら 總領事川越茂氏語る 『東京特體ナー日盤』銀道や現業は、郷金縣では過穀の破骸、上を線が固有鉄道史上に稀に見る大事性であったにも指した郷景中であったがこの程脈を脱骸が近根さかけ膨れ出省内のが料も散逸し勝ちなので伊庭縣長監骸の下にばに滅解脈の地郷が外不出さして一部だけ取順に附し織本は燃撃には緩撃であったがこの程脈を脱骸とた低し現業脈では緩撃があれるまさなった。

大冶對岸に

共匪現る

軍艦宇治碇泊

中にて諮る中にて諮る中にて諮る中では、非日さいふ程のこともなくす、非日さいふ程のこともなくなり中にいる程のこともなくない。 やうですが今は平常さ襲りあり ません、赞業税問題は各地で起 ってゐるこさで青島だけのこと だやないのでこれは中央さの交 池に委してあります、邦人經營 池に委してあります、邦人經營 のダンスホール東洋舞踏場の紛 知ば何も邦語名稱が悪いさいふ のでなくダンスホールの許可顧

【時京特體十一日製】大冶の新片 モラトリアム實施 愈々議定書に調印

批准寄託後効力發生

自動車政策を

典黨で承認

黨策ごして政府に進言

| 六ケ國財政戦門突骨職はフーヴァ | つたので十一日午後職職する事さ | る事になってある | 東京十一日参 | 発月十七日以来 | 1モラトリアムの管施総目に続て | なったその確定経効力はベータ係

大きな不便 一般空機の変化方配の用途さして 本交通機関として組織化する上に が監視されてあるのは、航空輸送事 取大なる晩報があるのであって、 かはな妹の果のやうな定静感空路 である、候しろ十人足らずの乗客 かはでもドイツ、アメリカの輸 た連続する飛行機がその懸響院す である、候しろ十人足らずの乗客 である、候しろ十人足らずの乗客 である、候しろ十人足らずの乗客 である、候しろ十人足らずの乗客 である、候しろ十人足らずの乗客 である、候しろ十人足らずの乗客 である、候しろ十人足らずの乗客 である、候しろ十人足らずの乗客 である、に、飲売順の大きさな有す である。は、飲売順の大きさな有す である。は、飲売順の大きさな有す である。は、飲売順の大きさな有す である。は、飲売順の大きさな有す である。は、飲売順の大きさな有す である。は、飲売間の大きさな有す である。は、飲売間の大きさな有す である。は、飲売間の大きさな有す である。は、飲売間の大きさな有す である。は、飲売間の大きさな有す である。は、飲売間の大きさな有す である。は、飲売間の大きさな有す。

るよい るのである。
る上に 乳然この問題は、オートロジロ ロ 食紅さ焼道食社でが進んし、の利用によつて、或程度に解決が 車により各体車場に鑑賞の取扱 ロジロさはいふ返もなく、普通の ートロジロに飛換へさせの 一トロジロに飛換へさせ た、底に其体車場の賦上 か、底に其体車場の賦上 が進いては此のオートロジロに飛換へさせ

エより、オ 々端めやうさする運動でもあるのと まるさ、ロ 先端野ひかせればならないのか。 連絡して海 カによってわが地球上の距離を創っ が、 を関氏の交換交配が金 が、 を関氏の交換交配が金 を対してがかず上の距離を創っ でもあるのと

の概算進行については関 に放棄されてゐた内外優 政府の関税差

支那內外債

整理停頓

【東京十一日發】民政憲は十一日 午後二時代幹部のな関きい動車交

た「しかし出れ、その皆様だ さ、彼は、若さうに眼をつぶつだいたい如つてるた……」 「飲はそれはだれださいふこさを ざ、悪気は手を振った。

さ、彼はまたいつた

一般では、これでは、 一般では、 一をは、 一とな、 一とな

お贈らを得たかったんです……」 彼女は、ハンカチーフで館を押る

を開降してるたんだが… り出した「先刺から、働

委員會

次長に内定 全数こしてで、 安保海根の手許で軽、美があた。 安保海根の手許で軽、美があた。 安保海根の手許で軽、美があた。 には軍会部次長 「田心さん、あなたを資献させた」 天があた。 新吉は、額から汗な流してゐる ですかり関係ア聯きましたよ さ、先に立つた新吉は、贈きの そこへ好中が来客を告げた。 背後に、選子、光子、素

のであるから細菌の登入すべき機質が殆のであるから細菌の登入すべき機質が発したもで乾燥し之れを直ちに完全に密封したもで乾燥し之れを直ちに完全に密封したものであるから無利のを強いであるから細菌の半乳を備か三み間は

と與へられないのである

行する丈の設備をする事が容易でない。

粉が大體内定した



☆ が飾中しようさは魅さなかつた。 しかし俺はこんなに撃くその豫語を お前にそのこさかちよつさいつた 彼はさういつて、腹脈の上に附

痛を込んで語りつどけた。

上海日本商議

を見てぬるこれが、 に管取入一ケ月五百萬元 で取入一ケ月五百萬元 が解の結果関税、魅動公

宿はロンドンの有力銀行家より である 歌川線の經濟が監合を採集した。 すべし」この重要進電を受た等め 歌し約六時間に取り協議の結果内 する時の思郷と既行 要し約六時間に取り協議の結果内 する時の思郷と既行

「あなたは一人の父を誤へて さ、海平は答べたる

要塞地帶の

山林に毛虫發生

司令部に驅除方交渉

でてこれが消縁に努めてゐるさ で、職然を使などな登行して辛う 佛伊海軍

満日社

奉天軍の關内撤退を

張學良氏に

に要請せん

戰局が再び不利なるを機會に

奉天官民有力者から

陳氏は頗る焦慮の態 交渉を再開する 佛政府再開同意

協定交涉

陳友仁氏等一行

當分東京に滯在

こ 課期されてゐる たまった。 では、一般では、大変山 一般には、大変では、大変では、一日午後三時より重複では、一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複である。」

「「日本では、一般である、そこで「一会話を贈ぎ出さして重複会話の事」には「一日午後三時より重複である。」

「日本では、一般である、そこで「一会話を贈ぎ出さして重複会話の事」には「一日午後三時より重複である。」

「日本では、一般である。」

「日本では、一日午後三時より重複である。」

「日本では、「一日午後三時より重複である。」

「日本では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時より重複では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「一日午後三時の事」では、「日本では、「

意見後原拓相語る 院が法を続じてゐるが、何とる場 たて民政署とも指揮と極力至急に驅 るこれ民政署とも指揮と極力至急に驅 るこれで良政者を認れて後重するを恐れて後食 寒地部のここで普通山林の如く手を上れているとなり、 あこさな 腹髪されてぬる 髪臓の髪 所が場所でれころ 一ツ草木一本さ の際にて改めて胡藤樹を植付くる 箸である、なは同氏の好土木脈技や鼠に解除することも出来す要素引 外遊の箸で職業の上明夏帰佐の今鼠を終て製焼た部長と突淡の綿 セリヤ、佛陽両横民地等を約八ケ総に解除することも出来す要素引 外遊の箸で歐米及阿弗利加、アル窓地管のことで普通山林の如く手 関東廳地方縣長水径湾雄氏は近く れ 役會職は今後銀週月曜日に際催す を 静に関する機議を得つたが定候重 を開き起こして重役會職の事 るこさに決定して同三時半散會し

水谷地方課長外遊

植民地の加俸減額

實施期也率也未定

三年間据置のみは意見一

要塞司令部に職能方を突然したが、全回の一節中村真轄氏も同時に外遊することとなった。

光に立て (60)

が前の領性がそれを押し通させて来 に思つてゐたか知れない。……」 山口みづき書 志の胸中にもなって見よう 西 之助

さ、素美は軽盛の前へ寄った。 命さ、というで、一般のそばに近づいた妹本では、彼のそばに近づいた妹本では、彼のそばに近づいた妹本がお前に課せられた必然能な運 も、重苦い沈默に囚はれた。 彼はまた、妹な呼んだ「」

新吉は戦つてゐた。

保存問題

(主婦の常識)

数は、さてもあなた達の目的を達ったかびるばかりです。現代の そして、素美は、そこの秘密の概に離を押つけた。 た塗は、その道を辿つてゆくべ 夏と牛乳の

乳粉全党の意

存養行 安完第

持ちなさい、氷のやうに確い意志をおません、銀のやうに確い意志をおってはいいません。 ず必は夏

愛見の為に是非御一讀を詳しい説明書進呈します

19664

證目

連大

隆

店本

店支連大店商卯载 七六通縣山市連大

目的ではない。手段を争びて目的ではない。兵を本又口舌の練習ではない。只然来の利益を目的と為す可きで民衆の利益を目的と為す可きで民衆の利益を目的と為す可きで民衆の利益を目的と為する。

はないない。 で、つまり暇の動物師ちゅまがで発見されたのは影響に継ぶす この症なるものは影は で、つまり暇の動物師ちゅまができるれるはかり、帯壁の 思者が之ない紙に研究して いっまり吸が呼にからたのは影響に構成する。 一般年英国のきる有名な水野に様なって、南米ブラ かだった いっまり を かんない で、つまり 中の動物師ちゅる かん この症なるものは影は 中の で、つまり 中の であるかん かん かん この症なるものは影は 中の で、 つまり 中の かん で いっまり 中の かん で いっとり 中の かん いっとり は いっと

の有名な水産動物

海の生物のエ

水產試驗場技師 牛 奥 貞 夫

たが、一陸之が何であるかについければ、

日

滿鳥協定の打合せを終って 字佐美所長けさ歸哈

社

說

漢口に大暴風雨襲ひ 日本租界危險迫る 全力を擧げ堤防補修 とないしまた事實決つてもゐなしないしまた事を決ってりそんなものは言へもよりることになった、會議の腹

をで四十銭足らず、こう思へば 安いから知れの、三キロ三十九 安いから知れの、三キロ三十九

るて電線製について書々には解れてかれったが、ごうもよく考へてみなったが、ごうもよく考へてみ

●経は現在電影が

解せぬ電燈料

なる程安いには なる程安いには

いのではない

高値な唱へてゐる

会は十一日午後七時より大連離場 に於て流州常年職監、大連新職社 に於て流州常年職監、大連新職社 に於て流州常年職監、大連新職社

30 4 8 0 2 4 3 27 13 2

力を有し、正排外運転に関し臭粋がは現在市融會内部で根盤の管禁を見てゐる。

魔治駆の一人

の内容

▲政府の對滿政策に就て 上京代表 上京代表

▲滿洲代表の朝野に奥へたる印象 上京代表 高塚源一氏

球—中村一(武非)▲試合時間——時間四十五分二木、追畑▲併殺—(明大)中村—追烟、布谷—

月末には判らう 清麗々道部の蘇桑屯機関庫新院は 大年度襲戦に就て飛霰き工事を進 するので地が部では小學校、地方 するので地が部では小學校、地方 するので地が部では小學校、地方 するのでの施設・では小學校、地方 することとなったが就中小學校は することとなったが就中小學校は することとなったが就中小學校は 蘇家屯の施設に

尨大な計畫 滿鐵地方費に計 上京代表の上京代表の一十一日盛況

明大豫科軍 雪辱快勝 ▲閉會の辭 滿州青年聯盟理事長 金井章次氏

1.81100

そく治療

殺し一死さしたが迫畑〇

酷熱の濠洲風景の

がいる魚で奇妙な形で一般によく は五井、瀧安の神合の豪揚(味瀬 かいる魚で奇妙な形で一般によく

◆第二回 實業人らす△明大二死 ◆第二回 實業一死後武井四球に 金第三回 實業一死後武井四球に 出たが二盗に死ね△明大二死後 ▲第四回 管業安藤一二間直球単 が津田好補して二木を二量に封 た津田が津田の一側バントは安 のスタート選く安藤二曼に封 のスタート選く安藤二曼に封 ではませる。

※人には焼奶と鑑いやうだが、これは正しく煎の一種である れは正しく煎の一種である

政府公安

酸に出して特點でもいふべ 今天の使日運動は、密時の 今天の使日運動は、密時の

海の反日運動 たるものである、師ち中尾先づ快大強利機能は内野児先に依つて得

部策動家に指導されて 陰性で戦術は巧妙

のみ (中略) ▲奈ぞや税務更のみ (中略) ▲奈ぞや税務更の

は、ものであったさ思ふこの版。この ものであったさ思ふこの版。この しつくく変野だ前に快打し二木とうとく変数を野すばやく三懸なた町田一懸また三懸に高投があた山田一懸また三懸に高投があた山田一野は、大野の二戦をが戦中地野 機能素から始めるで試験した。一般に変したのでは、

始令完全等學習用華語教科書生

市場電報

不不一三四後 一五二七 申申〇〇





期 近 5000 5000 四大五 四大五 14世に乗換を終了した 14世に乗換を終うした 14世に乗りた 出來高{銀對途 四千圓 當市閑散 出來高(期近七十六萬圓 鈔票小覧り 科 内科兒小 田一是 院醫原相 (入瓶體液)

一五九六番

毛織物、

絹織物專用化學的新發明

當市閑 く見送っ株の大引

* * 御家庭奥様の御嬉び

出張所 奉天平安通二〇

日本各地 名 0

のはが久に関すべきり でないさ思ふ、いふまでもなく でないさ思ふ、いふまでもなく 野娘のための戦備であり機備で を発展なりも準備で

心の愛護・體の愛護

赤坊の心身の正しい發達を妨ぐ

お母様の無智と不精

こさは母親の石仏氏さればなり、赤ん坊の泣くが像に機能させるべきで特殊はがん坊の強くが像に機能する

會教育指導員

上村哲彌氏談

満洲のの一女性

同時にからだ的です この問題もまたこ、ろ的であるこ

際(三時間乃至四時間)を置くこ

授乳の間に一郎の時間時間

変しに何もかまつてく.

れば消化の所要時間だからです、さば生理能に必要であります、そ

る間は小ん坊を戸外に出しますった。

村料――自身魚二十名、梅鉄四個村料――自身魚二十名、梅芸少々、三村酢(酢一勺味淋少々、響油一勺味淋少々、響油一勺

◇寄せ魚

◇一卸三杯酢

まぜ合せ、三杯酢をかけて海苔調理――魚麩及び大概おろした

調。理

三杯酢と寄せ魚

てゐるつていふぢやありません

て続き爆燃が這人つて來ま

き新は水に浸し

をはぎ搬肉器にかけて

村料――日味の魚三十匁、牛蒡サ 五匁、卵半分、食鹽で量、網の 村料へ澱粉、削節一匁、豊油一 が、味淋少量 で低に小口場さら、米のさぎ汁。 に送らてアク抜きならた後ゆで

味液で調理し、水溶からた凝粉 ・ 大変をは、水溶がした水の上に値をかけます。能は能 ・ でもしてが出るを促り、熱油、 ・ がでは、水溶がしたがは、 ・ でもの上に値をかけます。能は能 ・ でもの上に値をかけます。能は能 ・ でもの上に値をかけます。

安武でも安居アバートつてか覧に理想館に出來てます

貨家でも安島アパートなん

人は飛き窓をあけてれます、これる智能はありませんが、米國

スあたりには窓をあけ

夏向の料理

日身の魚で

だき、他に三杯酢を掘へて置きっちは片臓を気つて細かに挟みく

茂 黄家を称てるのに一定の規

野を設けてそれによらせるので

日

出席 素良女高師教授鑑智キョ子氏 標生高女校長 村井 榮藏氏 開出高女校長 和萱 庫三氏 標生高女教諭 ケ西ツネノ氏 神明高女教諭 ケ西ツネノ氏 神明高女教諭 大戸しげる氏 一中校長夫人 西内 駒路氏 高山 婦人閣幹事森本喜美惠氏 一中校長夫人 西内 駒路氏 一中校長夫人 西内 駒路氏 一中校長夫人 西内 駒路氏 一中校長夫人 西内 駒路氏 一中校長夫人 西内 駒路氏

今西 勝者は五十五度位さいつて をでせうれ をでせられ で室内の温度はごの位が適 でででする。 をでせられ をでせられ。



窓を 往 居を重とする

ヤインさをなるべく響に受けさいかってす、難さ名のです、難さ名の

勉強させられるのです。つまり

四瓜の皮を

斯うして利用

夏むきの美味し

香物ご佃煮が出來る

せやうためなのです、

懲職な子供たちの方が望内にさてす、ですからあちらでは却てですからあちらでは却て

くしい夏の果物のうちでも

るませんが成績は大災いく

細管でも自分で神想能な住宅をかっても事の出来るのは一次を製力で、大多転は社宅を対していてから、大多転は社宅を対している人で、大多転は社宅を対している人で、大多転は社宅を対している人では、大多転は社宅を対している人では、大多転は社会を対している人では、大多転は対している。 でも自分で理想能な住宅を いちなくて、住みよい家がほし ツ放し 0 でせう?

お核児の昼夜では屋根だけで窓 をきせて足を毛布でつくんで 整強させてあります、雨や風の かまりひざい日四五日を除いた

は智 程は英國でも、フランスで

カでも繋が切れさ

を開けるやうにしてるますが合い。 を開けるやうにしてるますが合い。 でせうか?ごうも味識しは いやうに思いますが

れるのが続ろはり前ちやないで 乾燥してゐる所では窓を開けて乾燥してゐる所では窓を開けて乾燥が 日本内地ですさ、黒氣があまり 一 西瓜も見たとけでも夏の湯を聲す 水の上にのせられた輪切りの赤い 水の上にのせられた輪切りの赤い

折角の美味しいものも不味くなり

側の質を附けたまいやりますで、

美味しくいたがけます、この時内 糖で所謂胡瓜もみにしても非常に 味を薄く切つで腕で揉み、酢さ砂

中だ。レインコート

疲勞の原因

動く、被めて常念

不思議がる、あまり繋ぐのでAが不思議がる、あまり繋ぐのでAが一枚、四枚、一枚を貼た黒い身體を見せてニヤリーと皆の話が聞いて居た。

ヤチョニ

御年さ身長さ御申越になりますさ

持参御用に應じます

元売業 連 大

・水を切り、機肉器に二回かけて置きます、無は皮を関するとす、無は皮を関するではできます。 がはさつざ優牙して置きます。 がはさつざ優牙して置きます。 がはさつざ優牙して置きます。 でこれに卵及び食鑑を入れてよ をできます。

尺い一尺と滑っ は大盛に注意 へかいる。

られるのです、一切の不然され仕 カかったら赤ん城は心臓入りの他な 放りを残めるのです。しかしその 快にたえませんから遊野をあげて だ頭のリーダ がいて洗練し がのです。がしばは濡れたむしめの心 に脛侮の念が ピッケルを鞭 がのて洗練し てからいと いった はってからい とのな 準備し、これな油でいため すき、これまた結構な個点が出来 やはりなのやうに白味の れる者がな か何と貧弱な雪深よ のに雪楽を彼たる。 る。足どりも軽く

日で生気がない







左にうち



村井 暖かすぎるより寒いだがかってい、やうですれ、健脱機のってい、やうですれ、健脱機の大人だつたらたこび深度でもは、 大人だったらたこび深度でもはかい案ほごよく風邪をひきます、子供の弱い家は大 に寒暖歌を置いて語らなくては の遭難記

立ちこめた物 かちこめた物 でで合品してど 尾根の ながレンズの生気 で進むリーダーのヴ

がい、後れ数きすぎるやうです

越智 つまり機さ同じ高さ、ペツ は大分ちがひます 室内さいつても上さ下さで 細さ

を出した。思 を出した、思 を出した、思 だい』と呼ぶ、今日の英雄人を中では、他に選択が無いばかりでなく元気を信に異形が無いばかりでなく元気を信に異形が無いばかりでなく元気を中では、『よく何とも無いれ』と皆いれば、「なくに『よく何とも無いれ』と皆いれば、「なくに『よく何とも無いれ』と皆いました。 機げられる、泉

でいるる。 でいてある。 をいてある。 をいてある。 である。 である。

鎌尾根を登撃して行く。

い皆さん買ひましよ う=さずれ服

に及ぼします影響を考へて見ます と、原料が影響が表す、次にこれが人性 に及ぼします影響を考へて見ます と、原料が影響が考って見ます に及ぼします影響を考へて見ます になるものさ同じでありまして飲食

は何故でありませうか、これドラ

いのに世界中に搬まったさいふの

によりましても感覚の冷蔵装置を常温では零度であります、それ故情をしましたのではごんなが法

さいつて郷氏零度で氷結したもの

科

文化人の臺所に進出

ドライ・ア

イス

(B) E

アイスは温度を平域に長い間深つも得なわけであります、同ドライ

によりましては氷の十倍も十五倍

館の熱を吸收するこの事でありまイアイスの特徴は氷に比べて終二

來ないのであります

の一般すて水さはならず直のカラリー

、米は申すまでもなく水できなるから至って便利でも

あ では場々で冷震装置を施すこさが の 5必要に聴じまして零下四十度ま

6-19

ぬらい切罐

ホントニ おいし ぎゆつと ホラ 飲みこんでごらん 11

坊や

简食味 へつつ ---

會社 松

大阪下 商 # 店

事品 (限) 22239年

元氣洋 作業服

御進物に! 絶對變質せぬ

小型羊羹を(

さって必要な経験はこころ的であってので数な経験はこころのであ 赤ん坊にさつて最も必要な

でれません、特にポん城の場合に の愛護な離れてはなく、又心の愛 をしいます。なければからだ なって、この愛護は鶏豊

子供の心と身物とは切り能

につれこんだりするのは沙汰の殴り、来客のある腹海に無理に揺り、来客のある腹海に無理に揺り

もので、おん坊の大敵である陽

には耐へがたいのです、皮野に一部ん塚の酢縄なんは影響さる場場 時を始めた機能は形ん場の

す、私人切のおしめが濡れてある

の中に置かる、やうな規則正しい はであず人のうちに性語を規律 さいふ人間生活に最も六切な社會 で関係の事態をきづかせられます 「規則正しを機能は母親が私人切 に難して観覧を報れば母親が私人切 ミスの名言を世のお母さんだに味

調であり、機の愛護は同時に心の

健やか 夏於冷 d

一大大学の表示にない、数千年の歴史と行うる東洋管壁はのは次して不思議ではない、数千年の歴史と行うる東洋管壁は冷断の巧妙に大きのであるから此の観響に依て削製されてものであるから此の観響に依て削製されてものであるから此の観響に依て削製されてものであるから此の観響にない。数千年の歴史となり、近世を行うる東洋管壁は冷断の巧妙にから見た で身體語歌の響唱を散し疲労を回て身體語歌の響唱を散し疲労を叫べて

do 白鹤

東洋醫學の眞髓

電四四九 番 滿洲日報社廣告部

勞働スポン 婦人簡單服 レンコート 生



大連市連續商店心濟橋通

は監然の静郷である、吉林出身の新郷帯年変が は監然の静郷である、吉林出身の新郷帯年変が は監然の静郷である、吉林出身の新郷帯年変が は監然の静郷である、吉林出身の新郷帯年変が は監然の静郷である、吉林出身の新郷帯年変が は監然の静郷である、吉林出身の新郷帯年変が

法權の暴威を振ふ

吉林 高 奥

九

不良井水の使用禁止のこさ

吉林

監獄

職をて法権の暴威を援舞けせる生軍法處は前途の処く司法機関にお

なるものに訴訟法すらないから勝手不等威をしても難解が式も徹底過ぎる程能能に、そし 時路が形式も徹底過ぎる程能能に、そし がたづけられる、神の総会とか続い、そし

類の行閥人等の取締を動行する財業、果實、菓子類及び鳥獣肉財業、果實、菓子類及び鳥獣肉・行商人取締りに關する件

左胸部に角

珍しい患者を診療して

醫大診療團一行歸る

精った、今時に総殊に動者が出 職びに四十分間で完全に治療に 本里程の二十里四がから集つて たので命の慰人のやうに整んで 本里程の二十里四がから集つて たので命の慰人のやうに整んで 本里程の二十里四がから集つて たので命の慰人のやうに整んで 本里程の二十里四がから集つて たので命の慰人のやうに整んで 本里程の二十里四がから集つて たので命の慰人のやうに整んで ながら一千名以上患者を診療し に多く大は戦人、支那人こなつ た、其中で最も命機であったの てゐる、蒙古人なごは又復連職 た。其中で最も命機であったの で一々治療するので診療も能穏 は最級弊難官の左照に大きなコ で一々治療するので診療も能穏 は最級弊難官の左照に大きなコ で一々治療するので診療も能穏 は最級弊難官の左照に大きなコ で一々治療するので診療も能穏 は最級弊難官の左照に大きなコ で一々治療するので診療も能穏 は最級難難にあることで之を四十 智が折れた、同地が一際は否々 はこれるる関係が からしているる。

日

地及び宅地内が除草清掃

野瀬に對する清潔消毒決質

「一般に施ても常いではまるので食用に を認めてい、又常家野歌も十分間 で見ひたい、又常家野歌も十分間

心患者関係者の検便に関

檢病的戶口調査を實施する

は可及的速に細菌檢査師に

の他は最も念を要することで野祭の他は最も念を要することで野祭 の代は最も急を要することで野祭

は千山の西南五里王鐵屯農徐某は

【報山】鞍山西方騰繁盛公安隊で 馬賊交戰

公安隊ご

馬賊の被害

西門子公安第二分職員十七名が本した 東進努力するに 上版力能に本協会

ダンス場許可願 愈々本式に提出

奉天からは結局二件

さて谷地佐合師さいふ覧頭な歌師を表表に然ては基等野の職の一様のみである、 石の四件の中で記れたの で国る調査で表示 に亘る調査で表示 で見る調査を表示

新電話審議は流 ので自動式隊通 大阪 長小で近く開通 の九月一日に頻換質の九月一日に頻換質

車林柿士富 ミトンケ ミンソドホ 号7ーリ 号ツーボス

進物の御用は幅の藤井卯へ







● 柳 行 李 類《角ズック、楓ズック、楓ズックを) ● 柳 行 李 類《角ズック、楓ズック、楓ズックを) ● 柳製バスケット(改良型、メ皮付型各種) ・ 大外柳郷工品、果物館、即往文に應じ迅速製作数します。 ・ 相等数 一 報文が送解数 は 版 版 市 ・ 本柳 第二十 ケ 年 外 山 洋 一行 ・ 本柳 第二十 ケ 年 外 山 洋 一行 、すき、アーブル 御一人前(河)、日支英テーブル 御一人前(河) (記) 機ズツクをし

町葉青市順旅 商 野 番六八一話電

千代田生命保險相互會社代理店 精 內 出 張 所解鮮火災海上保險株式會社代理店 旅順 語商

石炭商·倉庫業

旅順市敦賀町角 問話三〇五番

商日

派與

電話五の六

大連惠此須町二六

夏の超サ

各國製ベニヤ板

販賣

温

板

何卒多少不拘御下命下さいませ御結 婚 披 露 歡送迎其他御宴會 如何様にも御相談に應じます。

生みたて鶏の卵の卵のがラの卵の

農 園 電景二〇番 場 奴

壽 千御 五人 6前 話七六番

澤上

庵

季節向---御來客に----新味と―御手軽

緒。 方叮 語 商

快 氣 祝と御返禮品御出産祝と御返禮品 日御使用下さい安全經濟便利石油厨爐とアルコールコン安全經濟便利石油厨爐とアルコールコン 進物品調達

內案

旅 順 商 店

ピーテスキン

院々本会議院僧の運びに至らざり せるが未だ調査未ずの部門もあり せるが未だ調査未ずの部門もあり

以上の電館に基き智麗物委員會よ の対所を終て六日各々報合した

動は根強く強行されついりちょう。 【長春】 女那各地における佛日行

排日册子配布

EI FAR

田原

委員會本會議 旅順振興策の

安奉沿線の馬賊 来る縁載も九月頃には南洲をれて、これでその際不況の質情をあるのでその際不況の質情をある。

愈々傳染病猖獗期

来のが針を決定する事でなった。

盆々勢力を擴大

支那逃亡兵まで出没

ブ生活

年團の

BEST SKIN

ピーチスキンは歌遊な 以て標製された一種のサックで 有り、使用窓なく 強動にして

十数回の使用に堪ゆる意見調節

で性病燥時用の最高級品なり。

部署名際店にあり

安東埠頭寂寥

奉天の徹底的對策

檢病、野菜類の消毒、患者の收容等

丁數項に三て打合せ

しその他懐染病につき注意が肥実なるので一般市民は是非之を服用

社債の肩替りが

利下の先決條件

職制改正の東拓について

杉本奉天支店長語る

監を別価に得ふ業定であるさ では一般なり二十五日迄の間にて では一般なり二十五日迄の間にて では一般なり二十五日との間にて では一般なり二十五日との間にて 旅順少 キャン

五日迄の間にて今

本取取引高 本取取引高 本取取引高

旅順商 意々設立に決定 工協會

七の九九章草煙洋東

滿

水

テ

電話 エハー大番

長春市内に

職 『長春』十一日午前十時二十分頭頭 長春入鮎町四丁目十七番地郷路殿 で変付けて北人李を僧遊現大常百七十町、哈大洋七十元、吉林電船 でました長春墨では忽戦で展入支那店 だした長春墨では忽戦で展入支那店 四人組强盜 | 佐順|| 佐順側に協會性空に関する協議會は呼戦の近く十十年後一時から民政器に然て開催米内山署と長、城崎、齊藤殿縣長を始め関係。| 佐順 | 大阪衛・東京 | 大阪衛・東・東京 | 大阪衛・東京 | 大阪衛・東京 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪衛・東 | 大阪 | 大阪衛・東京 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 的代時も最 3点無守味美

り規約其他を附語し更に各方面よ 第一回の發起人會の如き形式さな 七車のみに過ぎなかった 派してゐる解核感は至極閑散期で個に此ずれば六十餘萬圓の滅少を

沿線往來

鐵理事 十一日朝來奉同 村日公主領より南下 十日公主領より南下 十日夜四平街へ 十日夜四平街へ 十日で四平街へ

係長 同上 在奉新聞關任者を

乾二氏(新任奉天醫大幹

(同日能長、十一日赴岭、十三上旅博副官)同上三旅博副官)同上三旅博副官)同上三旅博副官)同上三旅博副官)同上三旅博副官)同上三旅博副官)同上

本大尉(具容守備隊長)十日一赴〈箸

● 本語 (新任大連轉長) 十 日家族同伴長春安赴 五日頃大連星ケ浦に移住 五日頃大連星ケ浦に移住 五日頃大連星ケ浦に移住

任鞍山地方事務所係長

原支店長代理に柴鴨十六氏(補鑞鞍山支店長代理) 天公費主任) 十

中央黨部指令

第工品技術定律有工港 計會式涂車網目本日大 医大京市 遊馬 店 商 米 日 計會式集 要發 町周傳歷古名 四國島登原大 五座東京東 一兩本化 白 町金貴 號菜 前 霧 周 國 約時下店車線自名 海地各東縣

東京店 田下橋王平南語 大の茶の大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きを入りまするとの大きを入りまするとの大きを入りまするというでは、一般の大きを入りません。 一般の 東京 東京 は、一般の大きを入り、一般の大きないり、一般のり、一般のなり、一般の大きないり、一般の大きないり、一般の大きないり、一般の大きないり、一般のなり、一般のなり、一般のなり、一般のなり、一般のいり、一般のなり、一般のなり、一般のなり、一般のなり、一般のなり、一般のなり、一般のなり、一般のなり、一般のなりの 有名なる専門家侍のみくすり 為河代理店 肛門藥五 たっこ、ち出血ち、痛 十多代引せ五名 以の禁 十四二

> 店商の等吾 外の服洋紗羅 を寄立御度一たしまめ始を いる下較比倒を段値さ物品

吉

- 會

扱

其他食料品物類、鹽、海産物、砂糖、罐詰類、物類石類、織物類、鹽、海産物、砂糖、罐詰類、水材、硫安其他化學肥料、配精其他工業樂品、金各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、高洲特産物、麥粉、石炭、コークス、鐵道用品、高洲特産物、麥粉、石炭、コークス、鐵道用品、高洲特産物、麥粉、石炭、コークス、鐵道用品、

目

務

業、造船業及附帶事業物品販賣業、問屋業、運送業、

保險並に船舶代理

牛莊、安東縣、奉天、長春、哈爾濱

三并物產統會社大連支店

話(代表)七一〇一番

派号

社會改株酒麥本日

なが日尾

讀者慰安映畵

騎手試乘會

解映画猛舰國「

吉

林

四二二、金品

画の量が

日案内

譲受け度も性質獰猛

飾•材料

花

編者を

多し

家果装飾

大連市信濃町全市場

限らず直輸入の御需に應す が料、皮革類、羅紗、毛布及 が料、皮革類、羅紗、毛布及 の本語の のののでは、 のののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは、

寫真器類、其他歐米雜貨、特許品等何品に皮革類、羅紗、毛布及び材料品、時計、文化粧品、染料、食料品、農工具、其他金物

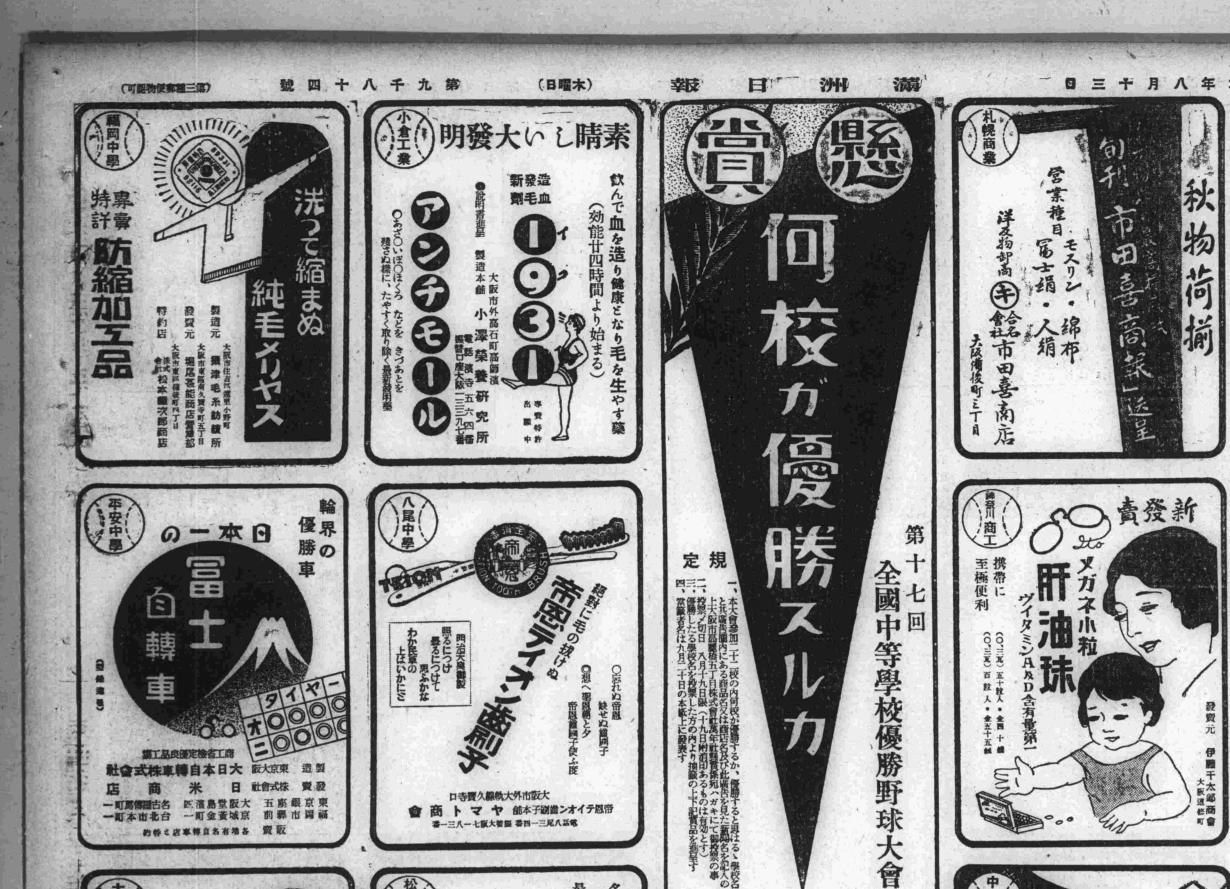
紫西パーセル化學工業會山總代理店 瀬西 フローラー會社

會合

電信器 一六

九十九番行











社會式株

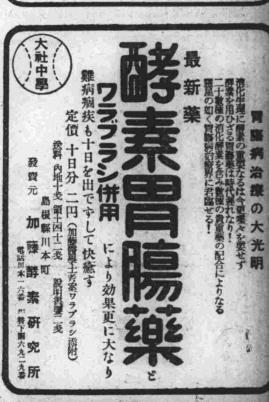
先づ内服楽











(77)

画然! 養鬼界の貴公子!! 原 CASTOR REX 名 カスター レッキス









幸校

ル十一日費】ロスアンセールスの女流飛行家にして二萬六千

コマ東京間無着陸

太平洋橫斷飛行

日

府津、弦鳴を指定して直に納可なが観土内のコースさしては

4-三三数第二トレイデユニオント月末脱塗に乾く珠定で使用機は

ーに織り再

往復飛行を計畫

フランスの三飛行家

失敗した

場は準備中

東西鳥人の交離

外史將軍もジ嬢とダンス

軍工兵大尉、現立数大學に相會したのを機さして、空の勢士息人が時を同う

使込みの穴埋に

姪を賣り飛ばす

本人危ふく難を免る

事局木内機事より背低罪で起訴し

同型機関士ペンフレー

赴いた《奉天電話》 浸水し、競人小僚人は飛獅げ戦備中さの懐報來り同公司では佐藤殿都係長が急遽蝦場に驚琺瑯香に七百五十天地の水田は一面泥海と化し七十二戸の鮮人家屋中五十戸地瓢製公司に裏河七尺以上承水と十一日韓に至り板橋子水田の堤防百五十間崩壊し、興三日本の歌雨で軽天附近の沖咄はいづれも氾濫しその氾壊の被割損だしき機様であるが、十一日驚

本月末決行の豫定で 我當局に許可願ひ 再舉 裏を進めついある米飛行家モイ 巴里東京間

り空前の経験を基する事さならう 一切空前の経験を基する事さならう なんて日本から二組の太平洋 シン

京への往後飛行を駆行し度き留十一定である。 『東京十一日辞』フランス飛行家 一日航空局に出願して來た三氏は「東京十一日辞』フランス飛行家 一日航空局に出願して來た三氏は「東京十一日辞』フランス飛行家

内に央行する旨通牒した 京間大平洋無養陸飛行を六週間以 京間大平洋無養陸飛行を六週間以 體刑を科せ 兩飛行家に 右傾團體動く 動を起すべしる希望を述べた 徹底的取調べ 無許可飛行は

まで市島長尾剛樹事の取調べた受後一時や東京樹事局に召喚二時中 二日頭に献名を吹歌徹底的動調へれば完全な点調べが出來のので十

水煮りの降気を食べる

さむであるのでむし暑い 関のため空氣中に多分の

の一般を表現のない。
一日を表現のなりを続したを観点した。十年ではよって居が様の外が一般を計断した。十年では、一日を表現のない。

者は青年會館内同學院事務所に申

家畜飼料を変

数送迎の御宴會は物場の、「日本料理量より實質的物」と迎の

日支英テーブル其他

拳銃密輸共犯

日したらズツと樂になる

暑さ

リ機出發す ムに向ひ がのは米屋さんばかりであるが 一き上こ人つても騒苦い程で、 まのは米屋さんばかりであるが というであるが **本格的盛夏の候に入り、喜かれるは益々きびとく、い

さへ散って、この

のむし暑さもさう長くは、丁駿られの程のこさもあ

要やすくながだらうこの でしまへば温度が上つで でしまへば温度が上つで を分けれなく、変分

夏家河子

新築海濱館 御利用下さい 中込所大連市大山通 ・ マッミヤ

ノームに随つた | れるのでモイル、アーレン歴氏は | ボイントパロー十日餐 | 驚地質 の 関税税際期間が十三日を現て切 | 十日午後八時五十三分、日本時間 | 【東京十一日餐】バシフィック號 | 離留中のリンドバーク大佐大寒は | 【東京十一日餐】バシフィック號 | 離留中のリンドバーク大佐大寒は | 「上海」元 | 一上 | 一上 | 一上 | 一十 | 上 夜間にポイントパロー 二九・五六度位のものであるが、一二九・五六度位のものであるが、一二九・五六度位のものであるが、

遭難汽船救助 驅逐艦急

戎克集り海賊の関れ

で集の上同艦は午後八時現場に急 でもがほ」に出動を命じたので非常 救助船急行 門司 から

最後のみ港で

燃料を補給

好調子なノー

チラス號

朝的歌

山東角神に於いて坐 重良部、多良間、嫉漫、新里の五小 無雨に驟けれた沖繩窓市列島の被 無雨に驟けれた沖繩窓市列島の被 があるもので平良第一、併 暴風雨の被害

沖繩縣下の大

はないので十二十ち海賊鬣蝎の心配 途に続いた同九時密脱丸が門引出 を表したので十二十年前九時蹄鯨の

一時導頭二十四番パースには苦力の喧嘩・十二日に 新案第一三六一一〇號

現場に強着したが海賊襲撃の

小林式デイゼル重油機関十馬力真質特許

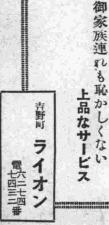
電話の周四一三一番三四一七番へ阪市西區本田町通り三丁目七(型線進等)

院醫富安 世 0 0 五氏話電









深のた氏氏ン夫教元章 野野米モ、ソッ等電量をかり 技術イ大スメンがでは異なかり 出出機ル平にン 戦闘の 2 度に

呎の婦人高度飛行記録を有するシ

は發験期限を九月末接延期する鑑得を計載してゐた處十一日大廠省制限度吸のため東京上海間往復報 濕氣故

許可を與へ

南滿商科學院

夏の味覺は

ライオンより

本 製造 一 戸建家屋 建坪二十六坪除土地高燥眺望佳各室南向日當及、一 工地高燥眺望佳各室南向日當及、一 工 世界程度 湯殿 炊事場便所完備自己住宅さしての建築 一 一 型 電話三六二九番

陸舶用デイゼル機關

小型不淘餐動機十五馬力 三馬力以上廿五馬力

(EI

夏料理は

てへ揃取上富豊を地生白種各 当の 間 奪は 深别 鉄脚 付 紋 脚

ホ

ル 0

夏料理の提供 大改築ご 文化住宅岭賣出 京却峽敷 元侠 京却峽敷 元侠

第二回理想的

御用酒 宮內省 學譽秀天涯

莉

はなり

正宗 谷 四四十〇四 商

19004

んさ安ちけく――だがよそ目には、なんさまアをツァし、ド集ご・・濃い日陰、凉しい風、慌たゞしい車馬の厩音を子守唄と聞いてな

前のライオンの口にかけて、文字通り版には然水盤の縁にそつて、身體をまるく様にとめ、そ

明下の石盤の壁さな知るさき、彼は午殿の智殿に既はず世続、あられても時過ぎて、私い勢から勢めて、現實の悲哀を味はうと共に、 三片は直響一尺位、二片は薬の連子の薬の低飛を輸出した。その中の口軽性の山炭城から、三二肺 椰子の葉の化石

常水艦ノーチラス號は夜中エンチンに故院を世時三十分監地養骸々スピツペルゲンに向け北洋

今朝にかけて郷上に渡ってゐる旨入電

佐校子は雕かな島対

のに難し、ピール氏はTA には南行貨物に難し、ピール氏はTA と言ふ

京

第四面

4

者の言葉

ゲンで更に燃料補給を受け膨々北極に向け灌鉱機械に上るのだ大天氣も臭く凝し燃かで解極な厳潔が出来る見込だ、スピッツペルがかまではりだ、我々が擦受した氣軟通報によればスピッツペルゲンまではりだ、我々が擦受した氣軟通報によればスピッツペルゲンまではりに、我をは非常時に使用すべき分を除いてなほ三箇月はたつぶあり、機能は非常時に使用すべき分を除いてなほ三箇月はたつぶ

旅館の異常な注目を集め近部 使之助氏版「光に立て」は各

だがそこに趣つたさまでものの関係がやぶれたからである

た連続後、 施して十二日報 が強についた

七曜ネクタ

行洋華浪

御轉宅トラック大中小何日にても二間に合はせます。 引越荷造 専門人夫を同はせます 方には無料御届けします 変別 一切の書式御入用の引越一荷物 證明願書外一切の書式御入用の

THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

者の期待に派ふものされが下の紙上に魔彩な

つ時のこさ、鳥鱵哈代表代理セその字佐美さんがハルビンを發

問題で微論でいが起つた。そ云

ふのは学佐美

YFZ0

七色一

來る

十六日本紙朝刊から連載

反

抗』

三宅やす

滿鐡の宇佐美ハ

人絹ぎらひ

0

木綿

だまん

月

・ 様さしの様子に地一てよった。 とくにとかしていてう、頼組虹一同意無統能なるものがある、燃料タンクは一ばいで終の部港地スヒツツベルゲンのアドヴエント間に球嚢出來るだらせー出養、北極洋に進みつゝある、多分十三日乃至十四日には最とし出養、北極洋に進みつゝある、多分十三日乃至十四日には最にしてする。

始ての高等考試 支。の事だが今年の高等考試の 支。の事だが今年の高等考試の 大の中、一百名だった。科目を見 人の中、一百名だった。科目を見 大の中、一百名だった。科目を見

石の獅子を禁足いので外人が鈍く取って行く。之には歌歌続さして記版なものが頻がれた一手に取扱って行く。之ので外人が鈍く取って行く。之ので外人が鈍く取って行く。之

て新いる。 一大学を開題であるから、 が要もグンでもまじめに信はれ をが要もグンでもまじめに信はれ で行く事は優定しい事である。 た。最も以後は

明銀小切手事件

其の海外輸出を禁止と

要校会感し下地、破心、融端三小 ・ 単校は全態に微し致態機能二些、 ・ 要校は全態に微し致態機能二些、 ・ 大家育実搬工場、民家の膨脹一千 七百戸、特濃一千五百戸、死像者 ・ 七百戸、特濃一千五百戸、死像者 三名起訴さる

でしまったさ見る、放薬をつかでしまったさ見る、放薬をつか さんが響ること、配して確定して、なられば宇佐美しル氏が響り、なられば宇佐美しかれば宇佐美になれば宇佐美になれば宇佐美になれば宇佐美になれば宇佐美にない。

十回滿了

旅順乃亦町藤図支店。電話六八章九巻

お伺ひします。御申込に就て御用の方はハガキ又は電話を御掛けくだされば店員早速に 藤図タン 智城町(太田港) 領地

A 開 同 會 送 之丸 一 商 會 責任付

对级个

のよ。いやならいやでかまはない めったく足があれほど思ひつめて あるから、緑の窓になって現が伴った。 大をかって出たくけなのよ。 たえ子はまた無豆の窓店を繰返 たえ子はまた無豆の窓店を繰返 たえ子はまた無豆の窓店を繰返 たえ子はまた無豆の窓店を繰返 たえ子はまた無豆の窓店を繰返 たえ子はまた無豆の窓店を繰返 たえ子はまた無豆の窓店を繰返 たえ子はまた無豆の窓店を繰返 たえ子はまた、脚方吊り合はない と云ってよいほどの緩だった。

の怒りにそれほどおびやかされは へんな遊響にも配しまいさ彼女は決 でんな遊響にも配しまいさ彼女は決 で

大連市巡後町

東春東南永六日洋三世條町街條町街條町

無いる。 「大き」 「アッチー」 「アッチー 「アッチー」 「アッチー」 「アッチー」 「アッチー 「アッチー 「アッチー 「アッチー 「アッチー 「アッチ

承知して下さ

た。そして、難くたえ子を鋭い眼ったせながら、ゆがんだやうな情感がな明つらせてかち上つ

京

さんさ結婚しないてこさ、程に修

小誠博多家靜子、大皷同さんぼ線杵屋八左衞門、同菊乃家小染長眼(楠公)眼杵屋八三郎、三昧

五十七課」滿 學務課秩父固太難語講座(初等科)「テキスト第二ユース

連 J Q A K

▲三曲へ新玉かった三粒幅水大公常 三粒幅水大公常 木で初榮 本職業紹介単項 本職業紹介単項

「それは出来ないての。

出來なかった。

思ふのよ。兄は行く行くは此の家でれること、あけみはうつむいたたいの」さ、あけみはうつむいたたいの」で、この結婚はあなたに取たって私ほご融いものではないさいの」と、たればでいるというに対している。「私」

された。あけみは純狂ひのやうなよりそつて融してあたここが思ひ出

(71)

雑二

ますが、少し考へるここがありまさんの御心は十分嬉しく思つてる

For All Fine

Laundering

MANCHURIASOAPMFG.COUL

高級瑞西

:

ラ

ניי

一蓋音器

ーケ月々賦提供

鹽泉田。有:

岳糸、毛織物、

缺く

か

ざる必需品なり 絹物の洗濯に

マルセル石機同質の係良品にして使用至って軽便効果値めて絶大な1

於各博寶會品評會名誉貨牌受領

1I

酒は君める

元氣で

同じ飲むなり

nees

大連市漢連町伊勢町角 大連市漢連町伊勢町角

李 天 春 日 町 安 東 縣 市場前

荣 榮 榮 榮

週

目

發

行

非

斌

聽 を 發

賣 元

エイクンを

大連

電話配にはな番

製品

111111

すから……」
いざさ云ふ場合に柳き出す黄の
いざさ云ふ場合に柳き出す黄の
っつた。あけみは暫々しけに鳴り
笑って、
たるこさ、て何なの」
たえ子はまた黙つてゐた、程木
の名を出すこさは此の場合決して

● (本) ・ (

襟のげし澤米

梶

田

小石川區雑司ケ谷町八七青(第八號)價四十銭、

放送かり

專賣店大應大連市

屋堂料代 店局

理料西蘭佛

H

の出

多

拜む

をの

也

それで

日

爽快

制

産

消

置

小兒科醫院 岩里家の家傳秘職(舜麋引替全部返金す) 製和大 令大 川紙の間各紙 洋 五 カ 通

23

酉 製場 互社弊 S 5

株式會社 大連市位渡町三の 大連市位渡町三の

安目一代鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並真鍮鑄物、酸素瓦斯

タイヤが他にあるだらうか 32×6 ヘビー程安全な 用ひてダンロツブ新型

重● 王●之 樣●

行

洋

一鐵鐵道車輛、 會株 鐵骨家屋、豆油容器、煖爐類本 店 大 大連機械製作所電影響 加三番



位本側樣客御對絕 現品先渡し致します NO. 60 ¥ 60.00

ウヰークダンスレコード

米國デューリ ヤム社製

地 申 各 山中ミ豐榮山高能ツ石上金天金

日中、豆菜田同能の石上電大電優近かる高 道二 田久 タ原枝光土光田江ぎー治 樂 + 泰商時 文菁時時堂時堂樂 音器樂 計商 音計計本計支器洋商器 下店店號會店會堂店店店店店店店店店店 や樂洋

ル(急・ 柳・絲便に 良 患 食傷 慢性) 安全にして、確實なる治療効果を收むるのみなら が、腐疾患に對する抵抗 力を増加し、衰弱せる 機能を强盛ならしむ。 をは、赤痢・コレラ・腹 なほ、赤痢・コレラ・腹 なほ、赤痢・コレラ・腹 なほ、赤痢・コレラ・腹 知名樂店に販賣す 整膓消 8 0 化保健

31-740(0)

衞兵長田武 武株 元賣發 式株 所驗實生衞戶神 元造製 市